

# minc CMS サービス

「UserTool」 利用マニュアル

2024/05/27 更新

## 目次

---

はじめに .....	5
ログイン方法 .....	6
ログアウト方法 .....	7
基本画面構成 .....	8
契約情報画面 .....	9
契約情報の画面構成 .....	9
ウェブサービス .....	10
ウェブサービス画面構成 .....	10
サブドメインを追加 .....	11
ドメインリスト（ドメイン並べ替え、表示切替） .....	13
ホスティング設定 .....	14
ホスティングタイプを変更 .....	16
ウェブサイトのステータス .....	19
サイトの説明 .....	20
サイトの説明を編集 .....	21
サイトの説明を削除 .....	21
ウェブホスティングアクセス .....	22
FTP アクセス .....	24
FTP アカウント作成 .....	25
追加 FTP アカウントのプロパティ変更 .....	27
追加 FTP アカウントの削除 .....	28
PHP 設定 .....	29
Apache と nginx の設定 .....	31
アプリケーション .....	34
対応アプリケーションの種類 .....	35
アプリケーションのインストール .....	36
アプリケーションの削除 .....	38
ファイルマネージャ .....	39
ファイルのアップロード .....	41
ファイルの作成 .....	42
ディレクトリの作成 .....	43
ファイルのコピー .....	44
ファイルの移動 .....	45

ファイルの削除 .....	46
ファイルを展開 .....	47
アーカイブに追加.....	48
ファイルとディレクトリのサイズ計算 .....	49
ファイルのタイムスタンプを変更.....	50
ファイルマネージャの設定 .....	51
ウェブ統計.....	52
Whois 情報.....	53
SSL 証明書.....	54
SSL 証明書の追加 .....	56
ウェブアプリケーションファイアウォール .....	63
特定のセキュリティルールをオフにする .....	65
パスワード保護ディレクトリ .....	67
保護ディレクトリの作成 .....	68
保護ディレクトリの設定変更 .....	70
保護ディレクトリのユーザアカウント作成 .....	72
ウェブサイトコピー .....	73
ログ .....	76
ログを確認.....	76
バックアップマネージャ .....	79
バックアップを作成.....	81
バックアップファイルのアップロード .....	83
バックアップを復元.....	84
バックアップファイルの削除 .....	88
バックアップのスケジュール .....	89
リモートストレージ設定 .....	91
データベース.....	93
データベースの画面構成 .....	94
データベースの作成.....	95
データベースの削除.....	96
データベースにアクセスする .....	97
データベースをコピーする .....	98
データベースユーザーのアカウント管理 .....	99
データベースユーザーのアカウント追加 .....	101
スケジュール済みタスク.....	102

タスクを追加 .....	103
タスクをキャンセル.....	105
スケジュール済みタスクの設定.....	105
WordPress .....	107
リソース利用状況 .....	110
統計情報の詳細を表示.....	111
付録1：MIME タイプのデフォルト設定 .....	113

## はじめに

---

本マニュアルは minc CMS サービスの「UserTool」 利用マニュアルです。

「UserTool」とは Web サイトの管理者向けに提供する管理用のインターフェースです。

本マニュアルでは、下記の「シングルドメイン 30GB」プランを前提としています。

### プラン設定

プラン名	シングルドメイン 30GB
サブドメイン数	Web : 5
ディスク容量	Web : 30GB

### ドメイン設定

(マニュアル中のサンプルドメインとして「minc-cms-test11.com」を例に説明しています。)

ドメイン名	minc-cms-test11.com
ウェブサイトドメイン	minc-cms-test11.com www.minc-cms-test11.com
ウェブサイトのサブドメイン	cms01.minc-cms-test11.com cms02.minc-cms-test11.com

### 推奨ブラウザ

推奨ブラウザ	推奨バージョン	注意事項
Mozilla Firefox	最新版	旧バージョンでもご利用いただけますが、レイアウト崩れやセキュリティ面の観点から、自動更新を有効にし、常に最新版をご利用頂く事を推奨しております。
Safari	最新版	バージョンにより「ウェブサービス」タブ下のメニューが表示されません。MozillaFirefox をご利用いただくか、SameSiteCookie のセキュア設定無効化を実施ください。
Google Chrome	最新版	

### セッションタイム

「UserTool」のセッション保持時間は『**30分**』となっております。

何も操作しない状態で 30 分以上経過すると、再びログイン画面が表示されます。

## ログイン方法

- (1)Web ブラウザで「<https://web-tool.minc.ne.jp/>」を開きます。
- (2)画面が開きましたら、登録証書の「UserTool ログイン ID」と「パスワード」を入力し、**[ログインする]**ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'UserTool ログイン画面' (UserTool Login Screen). At the top, there is a blue header with the title. Below it, a message reads: 「UserToolログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。 (Please enter your UserTool login ID and password, and click the 'Login' button). The form contains two input fields: 'UserToolログインID' with the value 'minc-cms-test11.com@minc-' and 'パスワード' with masked characters '\*\*\*\*\*'. A 'ログインする' (Login) button is located below the fields. A red box highlights the entire login form area.

- ◆ログインに失敗した場合はエラー画面が表示されます。  
正しい「UserTool ログイン ID」と「パスワード」を入力し、ログインを行います。



The screenshot shows the 'UserTool ログイン画面' (UserTool Login Screen) after a failed login attempt. The message reads: 「UserToolログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。 (Please enter your UserTool login ID and password, and click the 'Login' button). The form contains two input fields: 'UserToolログインID' with the value 'minc-cms-test11.com@minc-' and 'パスワード' with masked characters '\*\*\*\*\*'. Below the password field, a red error message says: 正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。 (Please enter the correct user name or password). A 'ログインする' (Login) button is located below the fields. A red box highlights the entire login form area.

※ 「UserTool ログイン ID」は大文字と小文字を区別しませんが、  
「パスワード」は大文字と小文字を区別しますので、ご注意ください。

## ログアウト方法

(1)UserTool からログアウトするには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



(2)ログアウトが完了すると、ログイン画面が表示されます。



## 基本画面構成

UserTool 画面は、以下の 5 つの部分から構成されています。



①	ロゴ表示エリア	minc のロゴが表示されます。 各サービスの設定画面で minc のロゴをクリックする事でホーム画面が表示されます。
②	ログインユーザー	UserTool にログインしているアカウント名が表示されます。
	契約情報	リソースとドメインの情報、契約者基本情報が確認できます。
	ログアウトボタン	クリックすると UserTool からログアウトを行います。
③	ウェブサービス タブ	ウェブサービスタブをクリックすると、ウェブサイトの設定と管理を行う画面が表示されます。
④	階層表示エリア	現在開いている画面の階層が表示されます。 「 <b>ユーザーツール &gt; ウェブサービス</b> 」 アンダーラインが付いている階層はリンクが張られていますので、1 階層上にも簡単に移動する事ができます。
	ホームに戻る	ホームに戻るボタンです。 クリックする事で、ホーム画面が表示されます。
⑤	ログイン直後(ホーム画面)	は、インフォメーションページとなっています。

## 契約情報画面

画面右上の「契約情報」のリンクから、リソースとドメインの情報、契約者基本情報が確認できます。

### 契約情報の画面構成

契約情報画面では、利用中のリソースとドメイン情報、サービス名やプラン名、ログイン ID が表示されます。

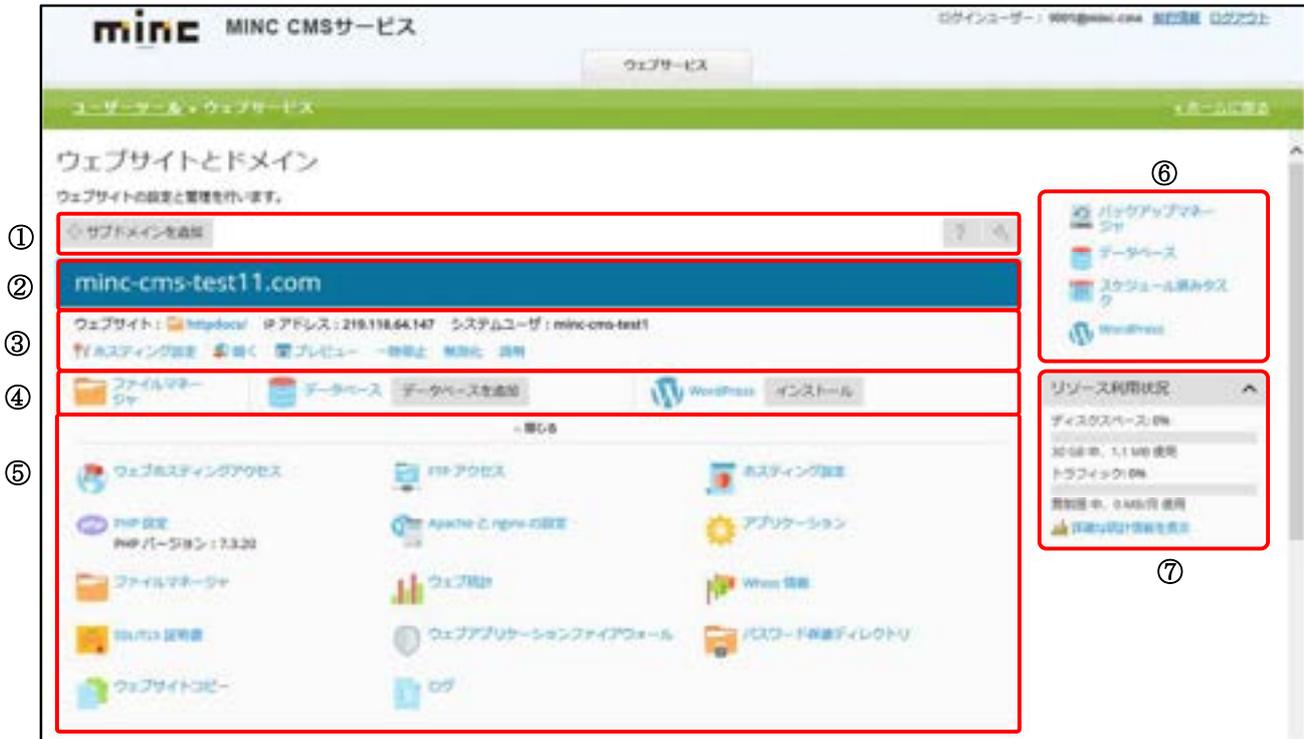
①	リソース	契約上の最大サイズと現在の利用実績が表示されます。
	ドメイン数	契約上の最大数と現在の利用実績が表示されます。 サブドメインの数はここには集計されませんので、「ウェブサービス」タブ内でご確認下さい。
	ウェブサービス HDD 容量	契約上の最大容量と現在の利用実績が表示されます。 利用実績はリアルタイムではなく、日時集計されます。
	ドメイン名	ドメイン名が表示されます。 「  」をクリックすると、FTP アカウント情報（FTP ユーザー名・初期パスワード）の確認ができます。
②	ご利用サービス名	ご利用のサービス名が表示されます。
	ご利用プラン名	ご利用のプラン名が表示されます。
	UserTool ログイン ID	UserTool にログイン中のログイン ID が表示されます。

## ウェブサービス

「ウェブサービス」タブをクリックする事で、ウェブサイトの設定、管理を行うための画面が表示されます。

### ウェブサービス画面構成

ウェブサービス画面では、設定変更可能な「ウェブサイト一覧」が表示されます。



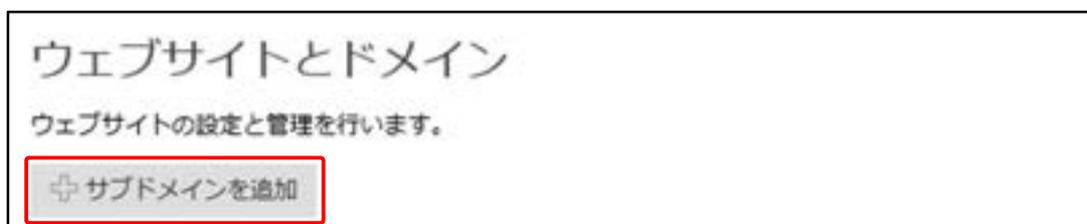
①	<p>サブドメインの追加や、ヘルプ、表示内容の設定項目です。</p> <p><b>[サブドメインの追加]</b> : サブドメインの追加が行えます。</p> <p><b>[ヘルプ]</b>  : 表示モードの機能説明が表示されます。</p> <p><b>[ドメインリスト設定]</b>  : ドメインの並び替えや表示モードの変更が行えます。</p>
②	<p>設定されたドメイン名が表示されます。</p> <p>※クリックする事によってサーバー管理エリアの表示/非表示を切り替え可能です。</p>
③	<p>ファイルマネージャへのアクセス、IP アドレス、システムユーザ名確認と下記操作が行えます。</p> <p><b>[ウェブサイトの場所]</b> : ファイルマネージャへアクセスできます。</p> <p><b>[ホスティング設定]</b> : ホスティングタイプ、セキュリティ、スクリプティング、および統計の設定が行えます。</p> <p><b>[開く]</b> : ウェブサイトを表示して確認することができます。</p> <p><b>[プレビュー]</b> : DNS の設定前など、ウェブサイトが非公開の状態でも、プレビュー表示することができます。</p>

	<p><b>【一時停止】</b>：一時的にウェブサイトの公開を停止し、「503 エラー」の表示にすることができます。(HTTP の場合) 一時停止をクリックすると②のドメイン名横に「一時停止」と表示され、[一時停止]が[アクティブ化]に切り替わります。再公開する場合はアクティブ化をクリックします。</p> <p><b>【無効化】</b>：ウェブサイトの公開を停止し、FTP クライアントとファイルマネージャ以外での使用を不可にできます。</p> <p><b>【説明】</b>：ドメインに対して、メモを設定することができます。この説明は「ウェブサイトとドメイン」画面でのみ表示されます。</p>
④	<p>初期表示は下記の情報が表示されています。</p>  <p>初期表示の情報を右上の[×]印で閉じると、表示が切り替わり、ドメインの状況に合わせたコンテンツを自動で表示します。</p>
⑤	<p>サーバー管理エリア：ウェブサーバの各種設定を行えます。</p> <p><b>【閉じる/展開する】</b>：サーバー管理エリアの表示/非表示を切り替えます。</p>
⑥	<p><b>【バックアップマネージャ】</b>：対象のコンテンツごとにバックアップを行うことができます。</p> <p><b>【データベース】</b>：使用するデータベースの作成と削除を行えます。</p> <p><b>【スケジュール済みタスク】</b>：スケジュール済みタスク(crontab)の表示、管理を行えます。</p> <p><b>【WordPress】</b>：インストール済みの WordPress が表示されます。</p>
⑦	<p>リソースの利用状況が表示されます。</p> <p><b>【総計情報の詳細を表示】</b>：より詳細なレポートが表示されます。</p> <p>※タイトル部分をクリックする事によって表示/非表示を切り替え可能です。</p>

## サブドメインを追加

設定されている契約ドメインに対するサブドメインを作成することができます。

(1) **【サブドメインを追加】**ボタンをクリックします。



(2) 「サブドメインを追加」画面は、以下の構成になります。

サブドメイン名	追加したいサブドメイン名を入力します。 ※契約ドメイン「minc-cms-test11.com」の場合、「cms01.minc-cms-test11.com」のような、「minc-cms-test11.com」の直前に入るドメインを区分けする文字列「cms01」を指します。
ドキュメントルート	サブドメイン名を入力することで、サブドメインで使用するウェブサイトのホームディレクトリへのパスが自動で挿入されます。

サブドメインの設定が正しく行われると、「ウェブサイトとドメイン」画面に下記のように表示されます。

🟢 情報: サブドメインを作成しました。ウェブサイト設定は 10 分以内に適用されます。

**ドメインリスト（ドメイン並び替え、表示切替）**

「ドメインリスト」で設定ドメインの並び替えや表示モードの変更が行えます。



並び替え	設定されているドメインの順序を設定できます。 ドメイン名を昇順[A→Z]、または降順[Z→A]での並び替えを行えます。
------	--

下記の様に、サブドメインが複数設定されている場合は、親ドメインを優先項目として、サブドメインでソートされます。

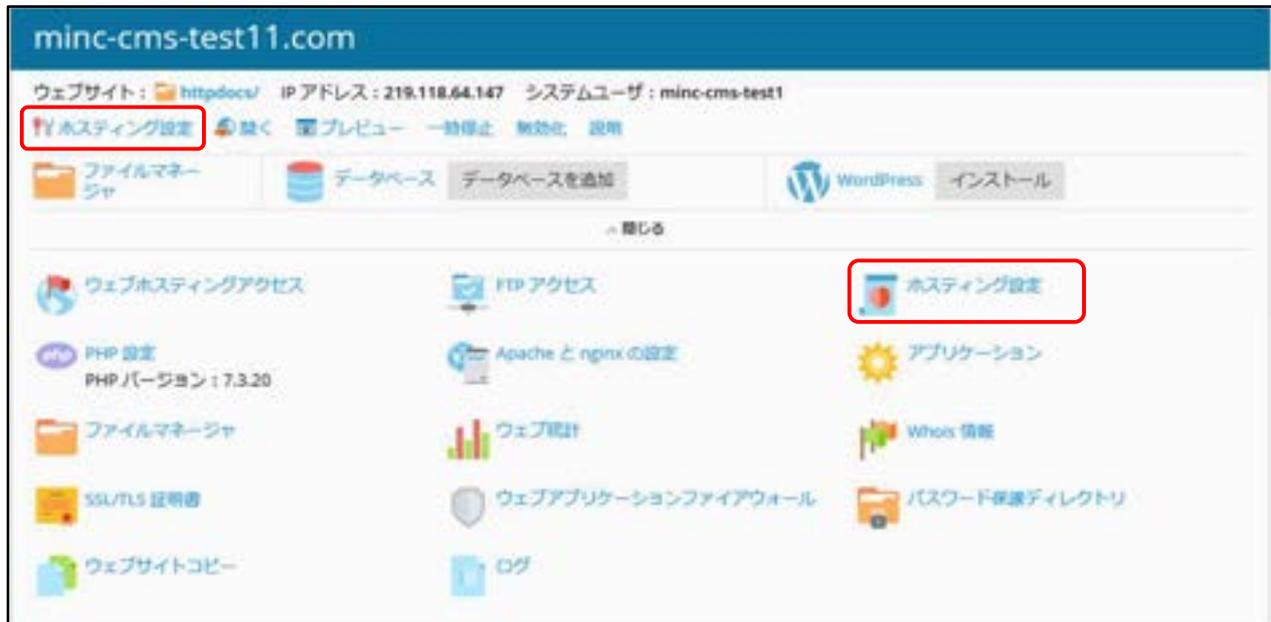
[A→Z]順の時のソート例	[Z→A] 順の時のソート例
minc-cms-test11.com	minc-cms-test11.com
sub1.minc-cms-test11.com	sub2. minc-cms-test11.com
sub2.minc-cms-test11.com	sub1. minc-cms-test11.com

表示モード	画面の表示モードを変更できます。 [アクティブリスト]、または[クラシックリスト]に切り替えができます。 ヘルプ(?)をクリックすると、画面表示の機能説明を確認できます。
-------	---

## ホスティング設定

ホスティングタイプ、セキュリティ、スクリプティング、および統計設定が行えます。

- (1) [ホスティング設定]をクリックします



※画面上部の「ホスティング設定」からも、同様の操作が可能です。

(2) 「ホスティング設定画面」は、以下の3つの部分から構成されています。



①	ウェブサイトの基本設定が行えます。 ※サブドメインの場合はホスティングタイプを変更できます。
②	SSL 証明書の設定が行えます。
③	実行可能なプログラミング言語、またはスクリプティング言語の設定が行えます。

## ホスティングタイプを変更

ホスティングタイプ（ウェブサイトホスティング、転送、ホスティングなし）では、ウェブサイトの動作を設定できます。

※本機能はサブドメイン設定でのみ利用可能です。

※デフォルトのホスティングタイプは「ウェブサイトホスティング」タイプとなります。

ホスティングタイプを変更する場合、**[変更する]**をクリックします。



### ◆ホスティングタイプ「ウェブサイトホスティング」

ウェブサイトを物理的にサーバー上に設置する設定になります。

「ウェブサイトホスティング」を選択すると以下の画面となり、ドキュメントルートを指定出来ます。



ドキュメントルート	サイトのすべてのファイルとサブディレクトリを格納しているディレクトリ の場所です。デフォルトディレクトリの「httpdocs」を使用することも、 他のディレクトリを指定することもできます。
-----------	--

◆ホスティングタイプ「転送」

ドメイン名転送(リダイレクト)によって 1 つ、または複数の登録済みのドメイン名が物理的に同じウェブサイトを示すようにすることができます。これにより、ブラウザで指定する URL から別の URL のサイトに訪問者を自動的にリダイレクトすることができます。

「転送」を選択すると以下の画面となります。



転送先アドレス	リダイレクトさせたいウェブサイトの URL を指定することができます。
転送タイプ	<p>どのくらいの期間リダイレクトさせるかに応じて、リダイレクトの転送タイプを選択出来ます。HTTP リクエストされた際の応答コードを制御し、恒久的な移設なのか、一時的な移設なのか、HTML framset を使った転送なのかを選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>恒久的に移動 (コード 301)</b> : ウェブサイト訪問者を別のサイトへリダイレクトし、リダイレクト先アドレスを訪問者に表示します。検索エンジンはサイトが引っ越されたと判断し、リダイレクト先の URL とコンテンツを表示するようになります。</li> <li>・ <b>一時的に移動 (コード 302)</b> : ウェブサイトのメンテナンス中など一時的に別のサイトへリダイレクトしたい時に使用します。検索エンジンは現在の状況が一時的な状態であると判断し、設定ドメインの URL とリダイレクト先のコンテンツを表示するようになります。</li> <li>・ <b>フレーム転送</b> : HTML framset を使い、転送先アドレスのサイトのコンテンツを表示します。ウェブサイトの訪問者に表示されている URL は転送元ドメインの URL になります。</li> </ul>

### ◆ホスティングタイプ「ウェブホスティングなし」

ウェブサービスを無効にすることができます。

「ウェブホスティングなし」を選択すると以下の画面となります。



The screenshot shows the 'minc Minc CMSサービス' (minc Minc CMS Service) interface. At the top right, it says 'ログインユーザー: 9001@minc.cms 実行履歴 ログアウト'. Below the header is a 'ウェブサービス' (Web Service) button. The main content area is titled 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tool > Web Service) and includes a breadcrumb 'ウェブサイトとドメイン > test1@minc-cms-test1.com > ホスティング設定' (Website and Domain > test1@minc-cms-test1.com > Hosting Settings). The main heading is 'ホスティングタイプを変更' (Change Hosting Type). Below this, there is explanatory text: 'このサーバでウェブサイトをホスティングするか(ウェブサイトホスティング)、別のサイトへのウェブ転送をセットアップするか(転送)、このドメイン名でメールボックスを持つためにドメインDNSゾーンを使用するか(ホスティングなし)を選択できます。' (You can choose whether to host the website on this server (website hosting), set up web transfer to another site (transfer), or use the domain DNS zone to have a mailbox for this domain name (no hosting)). The 'ホスティングタイプ' (Hosting Type) dropdown menu is currently set to 'ウェブホスティングなし' (No web hosting). At the bottom, there are three buttons: 'OK', '適用する' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel). A note at the bottom left says '\*必須フィールド' (Required field).

## ウェブサイトのステータス

「ウェブサイトのステータス」を無効、一時停止、アクティブに設定ができます。ウェブサイトのステータスを変更する場合、**[変更]**をクリックします。



「ウェブサイトステータスを変更」画面は、以下の構成になります。



ウェブサイトのステータス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>無効</b>：ウェブサイトの公開を停止し、FTP クライアントとファイルマネージャ以外では使用不可となります。ウェブサイト訪問者には「リクエストされたサイトは存在していません。設定直後の場合は、10分ほどお待ち頂いてからご確認下さい。」と表示されます。</li> <li>・ <b>一時停止</b>：ウェブサイトの公開を停止し、「503 エラー」を表示します。</li> <li>・ <b>アクティブ</b>：ウェブサイトは通常どおりに機能します。</li> </ul>
--------------	---

また、本機能はウェブサービストップ画面からも設定変更することが可能です。



## サイトの説明

サイトに説明（メモ）を追加することができます。この説明は、「ウェブサイトとドメイン」画面でサイトの一覧に表示され外部には公開されません。作成後、説明の編集や削除も行うことができます。

(1) サイトの説明を追加するには、サイト名の下に**[説明]**をクリックします。



(2) テキストボックスに説明を入力し、**[OK]**をクリックします。

作成をやめる場合は**[キャンセル]**をクリックします。



(2) 登録が完了すると、サイトの説明、および**[説明の編集]**、**[説明の削除]**が追加されます。



## サイトの説明を編集

- (1) 説明の編集を行う場合は、**【説明の編集】** をクリックして編集します。
- (2) テキストボックスの内容を編集し、変更する場合は**【OK】**、変更をやめる場合は**【キャンセル】**をクリックします。



## サイトの説明を削除

- (1) 説明を削除する場合は **【説明の削除】** をクリックします。
- (2) 確認メッセージが表示されます。  
削除する場合は**【はい】**、削除をやめる場合は**【いいえ】**をクリックします。



## ウェブホスティングアクセス

FTP、SSH 接続、アクセス解析（AWstats 等）のユーザー認証等に使用するための、ユーザー名の確認や、パスワードの変更等が行えます。

- (1) [ウェブホスティングアクセス]をクリックします。



(2) [ウェブホスティングアクセス]画面は、以下の3つの部分から構成されています。



①	ご利用いただいているウェブサーバの IP アドレスが表示されます。
②	<p>「ユーザー名」：ご契約に1つ割り当てられているシステムユーザ名を表示します。                  ※本ホスティングサービスでは、お客様のサイトの CGI や PHP、タスクスケジュール、ウェブ統計の認証などはこのシステムユーザの権限で実行されます。                  ※ユーザー名は変更できません。</p> <p>「パスワード」：新しいパスワードを入力します。                  ※パスワード強度は、次のヒントに従って、パスワードを強化できます。                  特殊文字 (!、@、#、\$、%、^、&amp;、*、?、_、~ など) を 2 つ以上使用します。</p> <p><b>[生成]</b>：パスワードを自動で生成します。</p> <p><b>[表示]</b>：入力したパスワードを表示したい時に使用します。</p> <p>「パスワードの確認」：確認のためにもう一度パスワードを入力します。</p> <p>「SSH 経由のサーバアクセス」：SSH 接続の可否を選択できます。                  [禁止]：SSH 接続を許可しません。                  [/bin/bush(chrooted)]：SSH 接続を許可します。</p>
③	使用可能なディスクスペースの上限を表示します。
④	<p>このシステムユーザに紐付けられたすべてのドメインを表示します。</p> <p>※このページでウェブホスティングアクセス設定を変更すると、表示されているすべてのドメインに適用されます。</p>

## FTP アクセス

FTP アカウントの新規作成や削除など、FTP アカウントを管理する画面です。

他のユーザーと共同作業を行う、他のユーザーにサブドメイン使用させる場合など、個別の FTP アカウントを作成することができます。

(1)[FTP アクセス]をクリックします。



(2) 「FTP アクセス」画面は、以下の3つの部分から構成されています。



<p>①</p>	<p><b>[FTP アカウントを追加]</b> : 追加の FTP アカウントを作成できます。</p> <p><b>[削除]</b> : 不要な FTP アカウントを削除できます。</p> <p>※契約のメイン FTP アカウント (システムユーザ) は削除できません。</p>
<p>②</p>	<p>設定された FTP アカウントを検索できます。</p>
<p>③</p>	<p>設定された FTP アカウントを表示します。</p> <p>「T」: FTP アカウントの種類を示すアイコンです。</p> <p>「契約オーナーの FTP アカウント」か「追加 FTP アカウント」かを区別出来ます。</p> <p>「名前」: FTP アカウント名が表示されます。クリックすると、該当 FTP アカウントの設定画面へ遷移します。</p> <p>「ホーム」: FTP アカウントのホームディレクトリを表示します。</p>

### FTP アカウント作成

(1) 「FTP アクセス」画面で、**[FTP アカウントを追加]**をクリックします。



(2) 「FTP アカウントを追加」画面は以下の構成となります。

The screenshot shows the '追加 FTP アカウントを追加' (Add FTP Account) page. The form contains the following fields:

- FTP アカウント名: Input field with 'small' entered.
- ホームディレクトリ: Dropdown menu with 'small minc-cms-test1' selected.
- 新規パスワード: Password input field with a green '生成' (Generate) button and a '表示' (Show) button.
- パスワードの確認: Password confirmation input field.

Buttons at the bottom include 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

FTP アカウント名	任意の FTP アカウント名を入力します。
ホームディレクトリ	作成する FTP アカウントで接続可能なトップディレクトリを「  」をクリックして選択できます。 ※複数フォルダの選択はできません。
新規パスワード	パスワードを入力します。 [生成]: パスワードを自動で生成します。 [表示]: 入力したパスワードを表示したい時に使用します。
パスワードの確認	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。

※FTP アカウントが正常に作成されると下記のように表示されます。

The screenshot shows the 'minc-cms-test11.com の FTP アカウント' (FTP Accounts for minc-cms-test11.com) page. A green message box at the top states: '情報 追加 FTP アカウントが正常に作成されました。' (Information: Added FTP account was successfully created). Below, a table lists the accounts:

名前	ホーム
small	small minc-cms-test11.com

## 追加 FTP アカウントのプロパティ変更

FTP アカウント名、ホームディレクトリ、パスワードの変更が行えます。

※契約メインの FTP アカウントの場合は、「ウェブホスティングアクセス」画面と同様の画面となります。

(1) 「FTP アクセス」画面の FTP アカウント一覧から必要な FTP アカウント名をクリックします。



(2) FTP アカウントの設定画面へ遷移します。

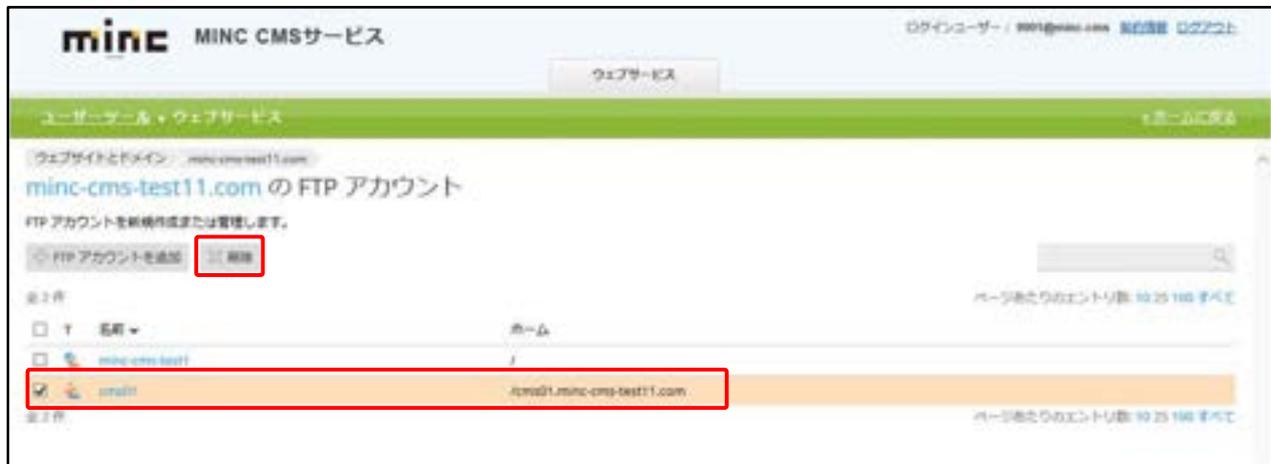
必要な変更を行い、[OK]をクリックします。



## 追加 FTP アカウントの削除

不要になった FTP アカウントを削除できます。

- (1) 「FTP アクセス」画面の FTP アカウント一覧から、削除したい FTP アカウント名にチェックを入れて、**[削除]**をクリックします。**※契約のメイン FTP アカウントは削除できません。**



- (2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は**[はい]**、削除をやめる場合は**[いいえ]**をクリックします。



## PHP 設定

ウェブサイトの PHP 構成が表示されます。

- (1) **[PHP 設定]** をクリックします。



(2) [PHP 設定]画面は、以下の 2 つの部分から構成されています。

①

②

①	<p>「PHP サポート」: PHP サポートを有効にする場合にチェックを入れます。</p> <p>「PHP バージョン」: 利用する PHP バージョンを選択します。</p> <p>※設定した PHP バージョンと利用する PHP アプリケーションのバージョンが異なる場合、正しく機能しない場合があります。</p> <p>「PHP の実行タイプ」: FastCGI アプリケーション/FPM アプリケーションから選択します。</p> <p>※詳しい知識がない場合は、デフォルトの「Fast CGI アプリケーション」をご利用下さい。</p> <p>ただし、PHP8 系列のバージョンをご利用の場合、FastCGI はメモリ消費が激しく、うまく動かない可能性がありますので、「FPM アプリケーション」のみ選択可能となります。</p> <p><b>[ ⓘ phpinfo() ページを表示 ]</b>: 現在構成されている PHP 環境の詳細な設定情報を表示します。</p> <p><b>[ 最も適切な PHP 設定を選択する方法について ]</b>: 別サイトにある PHP マニュアルに遷移します。</p> <p>※外部サイトへのリンクとなっており、提供していない機能の説明も含まれています。</p>
②	<p>PHP の詳細な設定が行えます。</p> <p>※PHP に詳しい方のみ設定してください。</p>

## Apache と nginx の設定

(ご契約のサービスでは nginx のウェブサーバは提供していません)

(1)[Apache と nginx の設定]をクリックします。



(2) 「Apache と nginx の設定」画面は、以下の構成となります。

※ここでの設定は、「.htaccess」では無く、httpd.conf 内に設定されます。



<p>MIME タイプ</p>	<p>ファイルの拡張子とファイルタイプを関連付ける機能です。 通常は、一般的なファイルタイプ用にカスタムファイル拡張子を作成するために使用されます。 [デフォルト値] 「付録 1 : MIME タイプのデフォルト設定」を参照 [カスタム値の入力例] text/plain .txt image/jpeg .jpeg ※ここに記載の入力例は既にデフォルト値で設定済み項目です。</p>
<p>ハンドラ</p>	<p>Apache ハンドラは、特定の拡張子のファイルが要求された場合にウェブサーバがファイルをどのように処理するかを定義するために使用します。 [カスタム値の入力例] php-script .script ※上記は*.script というファイルは php スクリプトとして処理する際の例です。</p>
<p>サイトへのアクセスを 禁止</p>	<p>指定されたホストとネットワークに対して、このサイトへのアクセスを禁止できます。すべての接続を拒否するには「*」を使用します。 ※デフォルト値は空となります。</p>

	<p>[カスタム値の入力例]</p> <p>192.168.0.0/16</p> <p>10.1.1.21</p> <p>「除外」：指定したホストとネットワークは、サイトへのアクセスが許可されます。</p> <p>※その他のウェブサーバ設定と違い、<b>[サイトへのアクセスを禁止]</b> パラメータは、デフォルト構成で提供される IP アドレスのリストを上書きするのではなく、補足します。競合が発生する場合（デフォルト構成で禁止されているアドレスを許可する場合など）は、管理者が設定した値が優先されます。</p>
インデックスファイル	<p>サイトのインデックスページが要求された場合、ここで設定されたファイルを左から順に探して表示します。</p> <p>[デフォルト値]</p> <p>index.html index.cgi index.pl index.php index.xhtml index.htm index.shtml</p> <p>[カスタム値の入力例]</p> <p>index.htm default.htm top.html</p>
シンボリックリンクのフォローを制限する	<p>このオプションにチェックを入れた場合、ディレクトリリスティングを.htaccess で制御させないように設定し、セキュリティが強化されます。</p>

※カスタム値で入力した値はデフォルト値よりも優先されます。

## アプリケーション

アプリケーションは、ウェブサイトインストールされたアプリケーションの管理や、アプリケーションのインストールができます。現在ご利用頂けるアプリケーションは「WordPress」です。

(1) [アプリケーション]をクリックします。



(2) 「アプリケーション」画面は、以下 2 つの部分から構成されています。



①

②

①	<p>各コンテンツを表示するためのメニューです。</p> <p><b>[マイ・アプリケーションを管理]</b>：ウェブサイトにインストールされたアプリケーションを管理します。</p> <p><b>[注目のアプリケーション]</b>：推奨アプリケーションや人気のアプリケーションの表示、インストールができます。</p> <p><b>[すべてのアプリケーション]</b>：提供しているすべてのアプリケーションの表示、インストールができます。</p>
②	<p>①のメニューで選択されたコンテンツを表示します。</p> <p>「マイ・アプリケーションを管理」画面では、インストールしたアプリケーションのスキャンが行えます。</p> <p><b>[スキャン]</b>：「WordPress」のアプリケーションを手動でインストール、または別サイトへコピーをした際には「マイ・アプリケーション」に表示されません。その際に「スキャン」を行う事によりここで一覧管理できる様になります。</p> <div data-bbox="252 869 911 1093" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>②</p> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>✔ 1 完了を隠す</span> <span>⏏</span> </div> <div style="background-color: #e8f5e9; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>✔ アプリケーションのスキャンが完了しました。</span> <span>✕</span> </div> <p style="text-align: center; color: #00bcd4;">ページ更新</p> </div> <p><b>[完了を隠す]</b> ポップアップ画面を閉じます。</p> <p><b>[ページ更新]</b> ページを更新します。</p> <p>「」：ポップアップを縮小化します。</p> <p>「」：スキャン情報を閉じます。</p>

### 対応アプリケーションの種類

WordPress：オープンソースのブログ／CMS プラットフォームです。個人ブログ、企業サイト、公共機関のサイトなど、多方面にわたるウェブサイトで利用されています。

## アプリケーションのインストール

ウェブアプリケーションをインストールしてサイトを作成します。

インストールは「注目のアプリケーション」から選んでインストールするか「すべてのアプリケーション」から選択してインストールしてください。

インストール方法には3通りあり、以下のいずれかの方法でアプリケーションをインストールします。

◆インストール：アプリケーションを簡単にインストールできます。

この方法を選択すると、選択したアプリケーションの最新バージョンが一般的な構成でサイトのトップコンテンツとしてインストールされます。アプリケーション設定はデフォルト値を使用し、インストールします。

◆カスタムインストール：全てのパラメータをカスタマイズして、最新バージョンのアプリケーションをインストールします。サイトのサブディレクトリにインストールしたい場合はこのカスタムインストールをお選び下さい。

◆インストールバージョン：特定のバージョンのアプリケーションをインストールしなければならない場合は、全てのパラメータをカスタマイズして、選択されたバージョンのアプリケーションをインストールします。

(1)インストール希望のアプリケーションが**[注目のアプリケーション]**に表示されていない場合は**[すべてのアプリケーション]**をクリックします。



(2) 「すべてのアプリケーション」画面は、以下の3つの部分から構成されています。



①	検索ボックス：アプリケーションの検索ができます。
②	<p>インストールしたいアプリケーションの詳細検索ができます。</p> <p>「アプリケーション」：アプリケーションの名称で検索できます。</p> <p>「パッケージ」：パッケージ製作者の名称で検索できます。(例：parallels,plesk)</p> <p>「ライセンスタイプ」：無料もしくは有料アプリケーションを検索できます。</p> <p>※現在は「WordPress」の無料アプリケーションが公開されております。</p> <p><b>[検索]</b>：入力された内容で検索を行います。</p> <p><b>[検索リセット]</b>：検索内容をリセットします。</p>
③	インストール可能なアプリケーションを表示、インストールが行えます。

インストールしたいアプリケーションを、**[インストール]**を押してインストールを行うか、**[インストール (カスタム)]**を押してカスタムインストールを行うか、**[インストールバージョン]**で必要なバージョンを選びインストールを行います。

## アプリケーションの削除

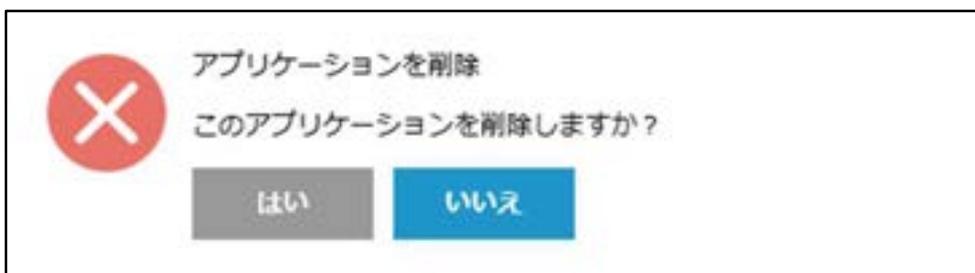
インストールしたアプリケーションの削除が行えます。

- (1) 「アプリケーション」の「マイ・アプリケーションを管理」画面を確認すると、インストールされているアプリケーションが表示されます。  
削除したいアプリケーション横の**[削除]**をクリックします。



名前	アプリケーション名を表示します。
インストールパス	インストールされているディレクトリを表示します。
削除	インストールしたアプリケーションを削除できます。

- (2) 確認メッセージが表示されます。  
削除する場合は**[はい]**、削除をやめる場合は**[いいえ]**をクリックします。



## ファイルマネージャ

ファイル転送ソフト（FTP ソフト）を別途ご用意いただくことなく、新しいファイルの作成や削除、編集が行えます。

(1) [ファイルマネージャ]をクリックします。



※画面上部の「ウェブサイトの場所」からも、同様の操作が可能です。

(2) ファイルマネージャは、以下の3つの部分から構成されています。



①	<p>[htdocs] : ディレクトリには、主契約サイト(最初に登録されたドメイン)の外部公開されるファイルやディレクトリが格納されています。</p> <p>[logs] : ディレクトリには、エラーログやアクセスログなどが格納されます。</p> <p>※[sample01.example.com] : 2つ目に設定されたサブドメインは、こちらのサンプルの様に、ドメイン名のディレクトリが作成されます。</p> <p>※[htdocs]ディレクトリと[logs]ディレクトリはデフォルトで設置されます。</p>
②	<p><b>[アップロード]</b> : 選択したディレクトリに対してファイルをアップロードします。</p> <p><b>[新規]</b> : 選択したディレクトリに<b>[ファイルを作成]</b>、または<b>[ディレクトリを作成]</b>します。</p> <p><b>[コピー]</b> : 選択したファイルを別のディレクトリにコピーします。</p> <p><b>[移動]</b> : 選択したファイルを別のディレクトリに移動します。</p> <p><b>[削除]</b> : 選択したファイルを削除します。</p> <p><b>[ファイルを展開]</b> : 選択したアーカイブ(zip ファイル)から、選択したディレクトリにファイルを展開します。</p> <p><b>[アーカイブに追加]</b> : 選択したファイルをアーカイブ化(zip ファイルに圧縮)します。</p> <p><b>[その他]</b> : <b>[サイズ計算]</b>、または<b>[タイムスタンプを変更]</b>を選択できます。</p> <p><b>[設定]</b> : ファイルマネージャの設定を変更します。</p>
③	<p>「名前」 : ファイル名、ディレクトリ名が表示されます。</p> <p>「変更日」 : それぞれのデータの変更日が表示されます。</p> <p>「サイズ」 : ファイルのサイズが表示されます。</p> <p>「パーミッション」 : ファイルやディレクトリごとにアクセス権の設定が変更できます。</p> <p>「ユーザ」 : ディレクトリ、ファイルの所有者が表示されます。</p> <p>「グループ」 : ディレクトリ、ファイルの所有グループが表示されます。</p> <p>「」 : クリックすると、それぞれのデータに合わせたメニューが表示されます。</p> <p>◆ディレクトリの場合、<b>[ブラウザで開く]</b><b>[名前変更]</b><b>[パーミッション変更]</b>から選択できます。</p> <p>◆ソースの編集ができるファイルの場合、<b>[コードエディタで編集]</b><b>[HTML エディタで編集]</b><b>[テキストエディタで編集]</b> <b>[表示]</b> <b>[ブラウザで開く]</b><b>[ダウンロード]</b><b>[名前変更]</b> <b>[パーミッション変更]</b>から選択できます。</p> <p>◆ソースができないファイルの場合、<b>[ブラウザで開く]</b><b>[名前変更]</b><b>[パーミッション変更]</b>から選択できます。</p> <p>※各項目をクリックすると、それぞれクリックした項目順に並び替えを変更できます。</p>

## ファイルのアップロード

選択したディレクトリにファイルのアップロードを行います。

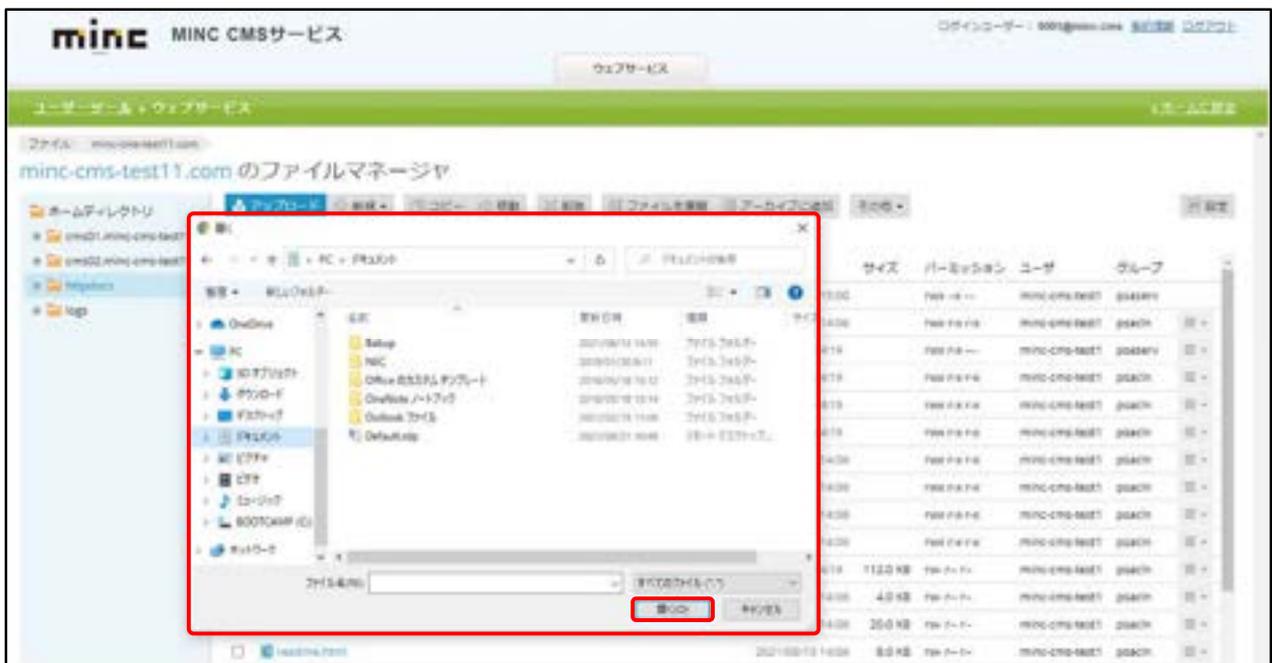
※同一名のファイルをアップロードすると確認画面の表示なくファイルが置き換わりますので、アップロードする際はご注意ください。

(1)ファイルをアップロードしたいディレクトリを選択して[アップロード]をクリックします。



(2)ファイルの選択画面が表示されます。

アップロードしたいファイルを選択し、[開く]をクリックします。



※ファイルを複数選択することも可能です。

## ファイルの作成

(1)ファイルマネージャ画面の[新規]より、[ファイルを作成]をクリックします。



(2)ファイル名の欄に、追加したいファイル名を入力し、[OK]をクリックします。

作成をやめる場合は[キャンセル]をクリックします。



※既に同じ名前でファイルが作成されている場合は、エラーが表示されます。

「HTML テンプレートを使用」にチェックを入れると、下記のような最低限の HTML タグの入ったファイルが作成されます。



## ディレクトリの作成

(1)ファイルマネージャ画面の**[新規]**より、**[ディレクトリを作成]**をクリックします。



(2)ディレクトリ名の欄に、追加したいディレクトリ名を入力し、**[OK]**をクリックします。

作成を取りやめる場合は**[キャンセル]**をクリックします。



※既に同じ名前でディレクトリが作成されている場合は、エラーが表示されます。

## ファイルのコピー

選択したファイルを別のディレクトリにコピーできます。

(1)ファイルマネージャ画面でコピーしたいファイルにチェックを入れます。



(2)ファイルを選択後、**[コピー]**をクリックします。



(3)コピー先のディレクトリを指定し、**[OK]**をクリックしてください。

※コピー先に同一ファイル名のデータが存在し、既存のファイルと置換をする場合は、  
「既存ファイルを置換」にチェックを入れてください。



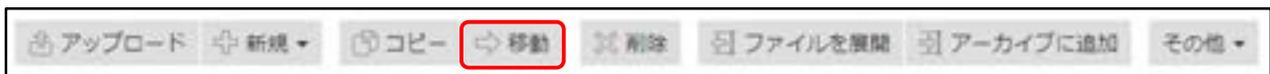
## ファイルの移動

選択したファイルを別のディレクトリに移動できます。

(1)ファイルマネージャ画面で移動したいファイルにチェックを入れます。



(2)ファイルを選択後、**[移動]**をクリックします。



(3)移動先のディレクトリを指定し、**[OK]**をクリックしてください。

※移動先に同一ファイル名のデータが存在し、既存のファイルと置換をする場合は、  
「既存ファイルを置換」にチェックを入れてください。



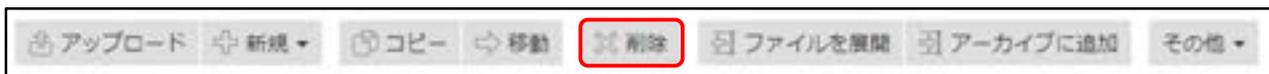
## ファイルの削除

選択したファイルを削除することができます。

(1)ファイルマネージャ画面で削除したいファイルにチェックを入れます。



(2)ファイルを選択後、**[削除]**をクリックします。



(3)ファイルを削除してよろしければ**[はい]**、

削除を行わない場合は**[いいえ]**ボタンをクリックします。

※一度削除しますと復元できませんのでご注意ください。



## ファイルを展開

選択したアーカイブ(圧縮データ)を、現在のディレクトリに展開できます。

(1)ファイルマネージャ画面で展開したいファイルにチェックを入れます。



(2)ファイルを選択後、**[ファイルを展開]**をクリックします。



(3)ファイルを展開してよろしければ**[OK]**、

展開を行わない場合は**[キャンセル]**をクリックします。

※展開先に同一ファイル名のデータが存在し、既存のファイルと置換をする場合は、  
「既存ファイルを置換」にチェックを入れてください。



## アーカイブに追加

選択したファイルをアーカイブ（圧縮データ）にして同じディレクトリに追加することができます。

(1)ファイルマネージャ画面でアーカイブ（圧縮データ）にしたいファイルにチェックを入れます。



(2)ファイルを選択後、**[アーカイブに追加]**をクリックします。



(3)アーカイブファイル名の欄に、追加したいファイル名を入力し、**[OK]**をクリックします。

作成をやめる場合は**[キャンセル]**をクリックします。



## ファイルとディレクトリのサイズ計算

選択したファイルやディレクトリのサイズを確認することができます。

(1)ファイルマネージャ画面でサイズを確認したいファイルにチェックを入れます。

1 つでも、複数でも選択可能です。



(2)ファイルを選択後、[その他]より、[サイズ計算]をクリックします。



(3)サイズ計算後、選択したファイルのサイズ合計が表示されます。



## ファイルのタイムスタンプを変更

ファイルの変更日を更新することができます。

(1)ファイルマネージャ画面でファイルの変更日を更新したいファイルにチェックを入れます。



(2)ファイルを選択後、[その他]より、[タイムスタンプを変更]をクリックします。



(3)クリックすると、変更日欄が現在の時刻に変更されます。



## ファイルマネージャの設定

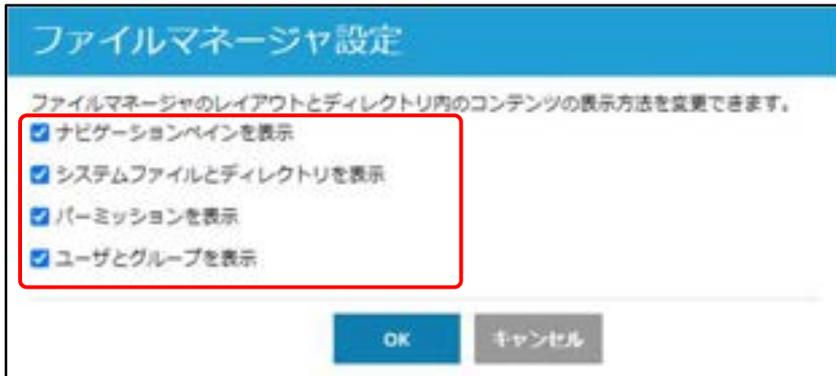
ファイルマネージャのレイアウトとディレクトリ内のコンテンツの表示方法を変更できます。

(1)ファイルマネージャ画面の**[設定]**をクリックします。



(2)下記の設定画面が表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



上記箇所はそれぞれ下記の通りです。



名前	変更日	サイズ	パーミッション	ユーザ	グループ
.	2021/08/13 13:00		rxwx-rx---	minc-cms-test1	psaserv
..	2021/08/13 14:28		rxwx-rx---	minc-cms-test1	psaserv
cms01	2021/08/13 13:04		rxwx-rx-rx	minc-cms-test1	psasch
cms	2021/08/13 14:19		rxwx-rx-r-	minc-cms-test1	psasch
img	2021/08/13 14:18		rxwx-rx-r-	minc-cms-test1	psasch
test	2021/08/13 13:33		rxwx-rx-r-	minc-cms-test1	psasch
index.html	2021/08/13 13:12	4.8 KB	rxwx-r--	minc-cms-test1	psasch

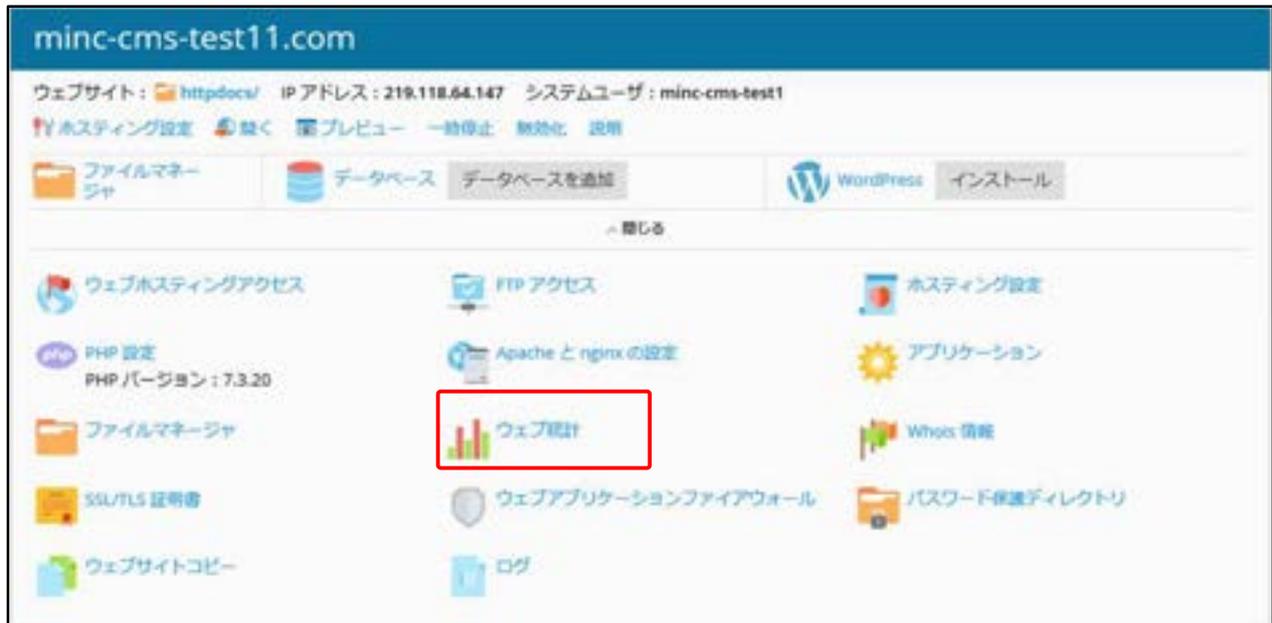
※「システムファイルとディレクトリを表示」:「.(ドット)」で始まるファイルとディレクトリの表示/非表示が切り替えられます。切り替えを反映させるには更新してください。

## ウェブ統計

「ホスティング設定」画面の「ウェブスクリプティングと統計」で設定した「AWstats」または「Webalizer」のウェブサイトのアクセスレポートを表示します。

レポートでは、サイトを訪問したユーザー数と閲覧されたウェブページが確認出来ます。

(1)[ウェブ統計]をクリックします。



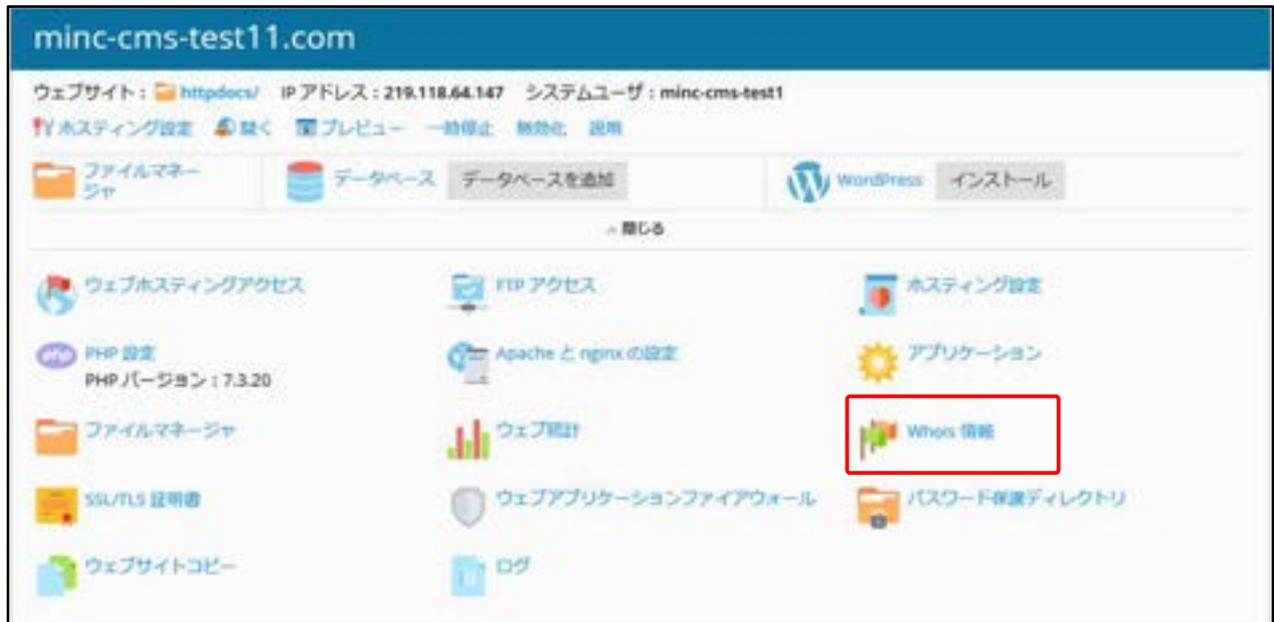
(2)新しいブラウザウィンドウが開き、サイト訪問の統計が表示されます。

※「ホスティング設定」画面で「ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザー名とパスワードで保護する」にチェックを入れている場合、「ウェブホスティングアクセス」画面で設定したユーザー名とパスワードでログインする必要があります。

## Whois 情報

ドメインの Whois 情報をご確認いただけます。

(1)[Whois 情報]をクリックします。



(2)「Whois 情報」が表示されます。



## SSL 証明書

SSL 証明書を使用すると、以下の 2 つのメリットが得られます。

- ・ウェブサイトで入出力される情報が HTTPS 接続により暗号化され、保護されます。
- ・ウェブサイト用に発行された SSL 証明書により、ウェブサイトが本物であることを示すことができます。これにより、ウェブサイト訪問者は、第三者が偽装した悪意あるウェブサイトではなく、正しいウェブサイトを閲覧していることを確認できます。

(1)[SSL 証明書]をクリックします。



(2) 「SSL 証明書」画面は、以下の 4 つの部分から構成されています。



①	SSL 証明書のアップロードが行えます。 ※通常は、②の[SSL 証明書を追加]をご利用ください。
②	[SSL 証明書を追加]：SSL 証明書の追加ができます。 ※通常はこちらより設定してください。 [削除]：設定された SSL 証明書を削除できます。
③	設定された SSL 証明書を検索できます。
④	設定された SSL 証明書を表示します。 「R」：証明書署名リクエスト（CSR）部分の提供状況を示すアイコンです。 「K」：秘密キー部分の提供状況を示すアイコンです。 「C」：証明書部分の提供状況を示すアイコンです。 「A」：CA 証明書部分の提供状況を示すアイコンです。 「名前」：証明書名を表示します。 「使用」：ドメインに設定している使用数を表示します。 「↓」：すべての証明書コンポーネントをダウンロードできます。

## SSL 証明書の追加

(1)SSL 証明画面で[SSL 証明書を追加]をクリックします。



(2) 「SSL 証明書を追加」画面で、下記赤枠①と②の項目を入力し **[リクエスト]** をクリックします。

**minc** MINC CMSサービス

ログインユーザー: 0000@minc.com 契約情報 ログアウト

ウェブサービス

ユーザーメニュー・ウェブサービス

ウェブサービスとドメイン: minc-cms-test1.com SSL/TLS 証明書

### SSL/TLS 証明書を追加

① 証明書名\*

設定

このフォームを使用して、証明書のリクエストの生成、プロバイダから証明書の購入、または自己署名証明書の生成を実行します。

リクエストとは、フォームで指定したドメインについての情報が含まれる CSR ファイルのことです。リクエストを証明書に送信し、証明書の発行を依頼することができます。次に、以下のいずれかのアップロードフォームを使用してアップロードします。

自己署名証明書とは、発行者自身が署名した発行証明書のことで、このような証明書を使用する場合は、自らのサイトの責任を自ら証明することになります。自己署名証明書では SSL/TLS を使用できませんが、信頼性と安全性は低いと見なされます。

②

ビット\* 2048

国\* Japan

郵便番号\*

所在地 (市区町村)\*

会社名 (会社)\*

郵便名

ドメイン名\* www.minc-cms-test1.com

メール\* 0000@minc-cms-test1.com

リクエスト 自己署名

証明書ファイルをアップロード

証明書のコンポーネントをファイルとしてアップロードするには、このフォームを使用します。

私鍵キー (\*key) \* ファイルを選択 選択されていません

証明書 (\*cert) \* ファイルを選択 選択されていません

CA 証明書 (\*ca.crt) ファイルを選択 選択されていません

証明書をアップロード

証明書をテキスト形式でアップロード

証明書のコンポーネントをテキストとしてアップロードするには、このフォームを使用します。ファイルのコンテンツを該当フィールドにコピー&ペーストしてください。

私鍵キー (\*key) \*

証明書 (\*cert) \*

CA 証明書 (\*ca.crt)

証明書をアップロード

\*必須フィールド

キャンセル

①	「証明書名」: 他の証明書と区別するための証明書名を入力します。
②	<p>「ビット」: 暗号化の強度（暗号化に利用される鍵の長さ）を表示しています。 ※通常は「2048」ビットを選択します。</p> <p>「国」: 国を選択します。</p> <p>「都道府県」: 都道府県を入力します。</p> <p>「所在地（市区町村）」: 所在地（市区町村）を入力します。</p> <p>「組織名（会社）」: 組織名（会社）を入力します。</p> <p>「部/課名」: 部/課名を入力します。</p> <p>「ドメイン名」: 証明書で保護するドメイン名を入力します。 ※「www」あり/なしのどちらで取得するかは「ホスティング設定」の設定内容に応じてお選びください。</p> <p>「メール」: メールアドレスを入力します。 ※上記項目に入力する内容は、SSL 証明書申請者の正確な情報をご入力下さい。</p> <p><b>[リクエスト]</b>: SSL 証明書を申請するための秘密キーと証明書署名リクエスト（CSR）を生成します。</p> <p><b>[自己署名]</b>: 自己署名証明書を生成したい場合に使用します。 ※自己署名証明書は証明書を購入手続きせず、外部公開しないクローズドなサイトで暗号化通信を行いたい場合に任意で使用します。第三者機関による証明をしてもらう場合は、<b>[リクエスト]</b>よりお進みください。</p>

(3)**[リクエスト]**をクリックすると、SSL 証明画面に遷移し、作成した SSL 証明書がリストに追加されます。作成した証明書名をクリックし、生成された秘密キーと証明書署名リクエスト（CSR）を確認してください。

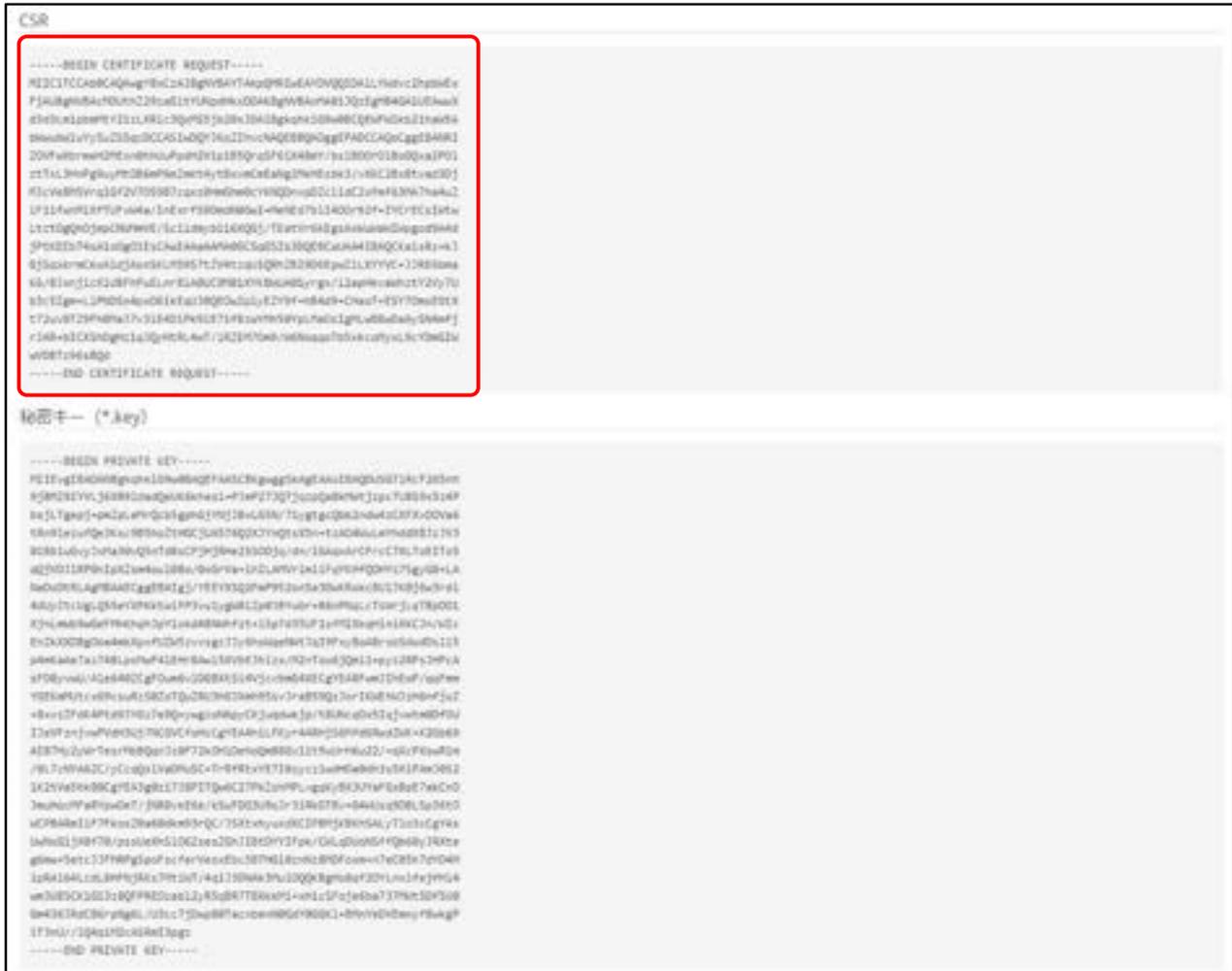


The screenshot shows the 'minc CMSサービス' user interface. The main content area is titled 'minc-cms-test11.com の SSL/TLS 証明書'. Below the title, there are instructions in Japanese regarding certificate uploads. A section titled '証明書をアップロード' contains a file upload button and a 'SSL/TLS 証明書を追加' button. At the bottom, a table lists certificates, with one entry 'minc-cms-test11.com' highlighted by a red box.

(4)前過程で生成された CSR を任意の認証局（SSL 証明書発行機関）に提出し、証明書を購入してください。CSR を取得するには、生成した証明書の名前をクリックします。

証明書を購入するときに、CSR セクションまでスクロールして、テキストを「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」から「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」まで(下記の画面の赤枠内)をコピーして認証局に提出してください。

※具体的な手順は認証局によって異なるため、なんらかの問題が発生したときは該当の認証局（SSL 証明書発行機関）までお問い合わせください。購入完了後、証明局より拡張子「.crt」、または「.pem」ファイル、あるいはテキスト形式で証明書が提供されます。



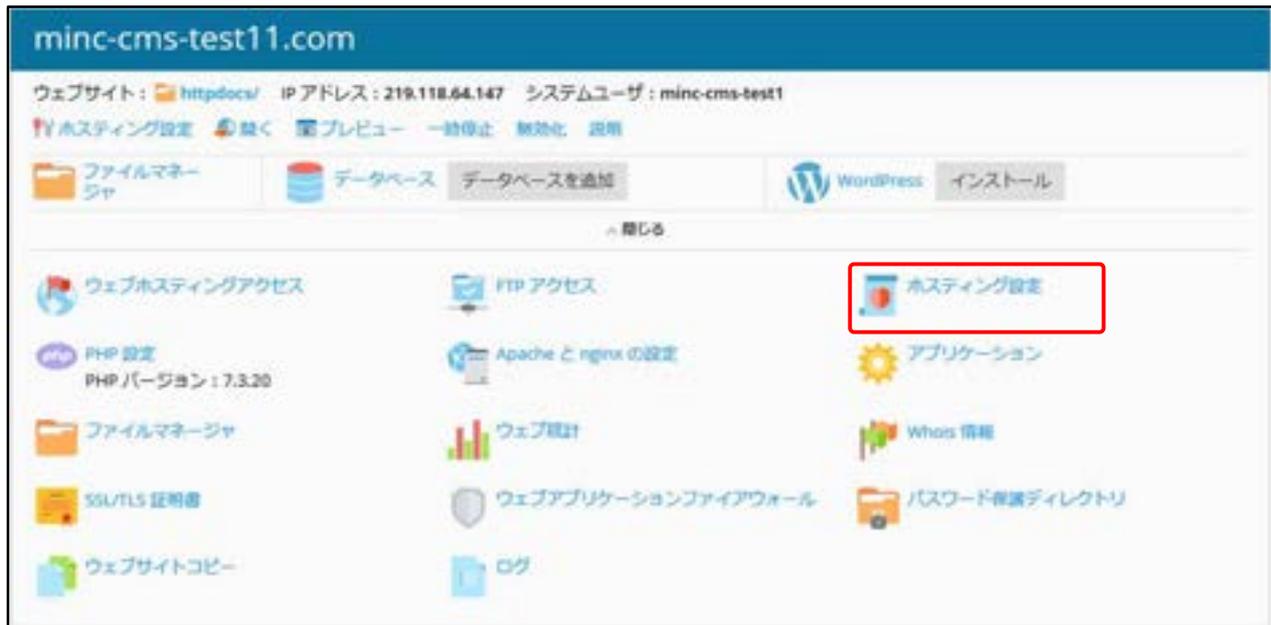
(5) 認証局での証明書購入が完了したら、証明書をアップロードします。SSL 証明書画面から、設定する証明書の名前をクリックして、以下の①、もしくは②の方法でアップロードを行ってください。

① 拡張子「.crt」、または「.pem」ファイルの証明書の場合、「証明書ファイルをアップロード」セクションからファイルを選択ボタンより該当証明書を選択し、**[証明書をアップロード]** をクリックしてアップロードします。

② テキスト形式の証明書の場合、「証明書をテキスト形式でアップロード」セクションで証明書を該当フィールドに貼り付け、**[証明書をアップロード]** をクリックしてアップロードします。

The screenshot displays two sections for uploading certificates. The top section, titled "証明書ファイルをアップロード" (Upload Certificate File), includes a red box labeled ①. It contains two rows: "証明書 (\*.crt) \*" and "CA 証明書 (\*.ca.crt)". Each row has a "ファイルを選択" (Select File) button and a "選択されていません" (Not selected) status. A red box labeled "証明書をアップロード" (Upload Certificate) is located below these rows. The bottom section, titled "証明書をテキスト形式でアップロード" (Upload Certificate in Text Format), includes a red box labeled ②. It contains two large text input fields for "証明書 (\*.crt) \*" and "CA 証明書 (\*.ca.crt)". A red box labeled "証明書をアップロード" (Upload Certificate) is located at the bottom left of this section.

(6) 「ウェブサイトとドメイン」画面から、**[ホスティング設定]**をクリックし、証明書をサイトにインストール(関連付け設定)します。



(7) 「セキュリティ」セクションの「SSL サポート」にチェックを入れて、アップロードした証明書  
を「証明書」のプルダウンメニューより選択し、[OK]をクリックします。

The screenshot shows the 'minc CMSサービス' (minc CMS Service) interface. The page title is 'minc-cms-test11.com のホスティング設定' (minc-cms-test11.com Hosting Settings). The 'セキュリティ' (Security) section is expanded, and the 'SSLサポート' (SSL Support) checkbox is checked. A dropdown menu for certificates is open, showing 'None' selected. The 'OK' button is highlighted with a red box.

minc CMSサービス

ログインユーザー: 9991@minc.cms 設定情報 ログアウト

ウェブサービス

ユーザーツール > ウェブサービス

ウェブサービスとドメイン: minc-cms-test11.com

minc-cms-test11.com のホスティング設定

ウェブサイトのホスティングの設定を行い、サイトで使用可能な機能を設定します。

ホスティングタイプ: ウェブサイト

ウェブサイトのステータス: アクティブ (更新)

ドキュメントルート\*: /htdocs

ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

既定ドメイン:

- www.minc-cms-test11.com
- minc-cms-test11.com
- なし

SSLに対応する HTTP 301 リダイレクトによってサイト訪問者をリダイレクトする SSL (www プレフィックスあり/なし) を選択します。

セキュリティ

サイトへのトラフィックをセキュリティ確保するには、SSL/TLS プロトコルを使用します。すべてのデータが暗号化され、セキュア接続経由で送信されます。SSL/TLS を導入するには、サイトに SSL/TLS 証明書をインストールし、以下でこの証明書を適用してください。

SSL/TLS サポート

SSL/TLS に対応する HTTP から HTTPS への強制的 301 リダイレクト

証明書: 未選択

ウェブスクリプティングと統計

ウェブサーバで以下のどのプログラミング言語またはスクリプティング言語を割り込み、実行、または処理するのかが決定します。

- PHP サポート
- PHP サポート (PHP バージョン: 7.3.20) PHP の実行タイプ: FastCGI アプリケーション

PHP ハンドラタイプを変更すると、このウェブサイトの既存の PHP スクリプトの機能に障害が発生する可能性があります。

最も適切な PHP 設定を選択する方法について

- CGI サポート
- FastCGI サポート

AWStats:  ウェブ統計 (ウェブ統計へのアクセスを HTTP ユーザー名とパスワードで保護する)

カスタムエラードキュメント

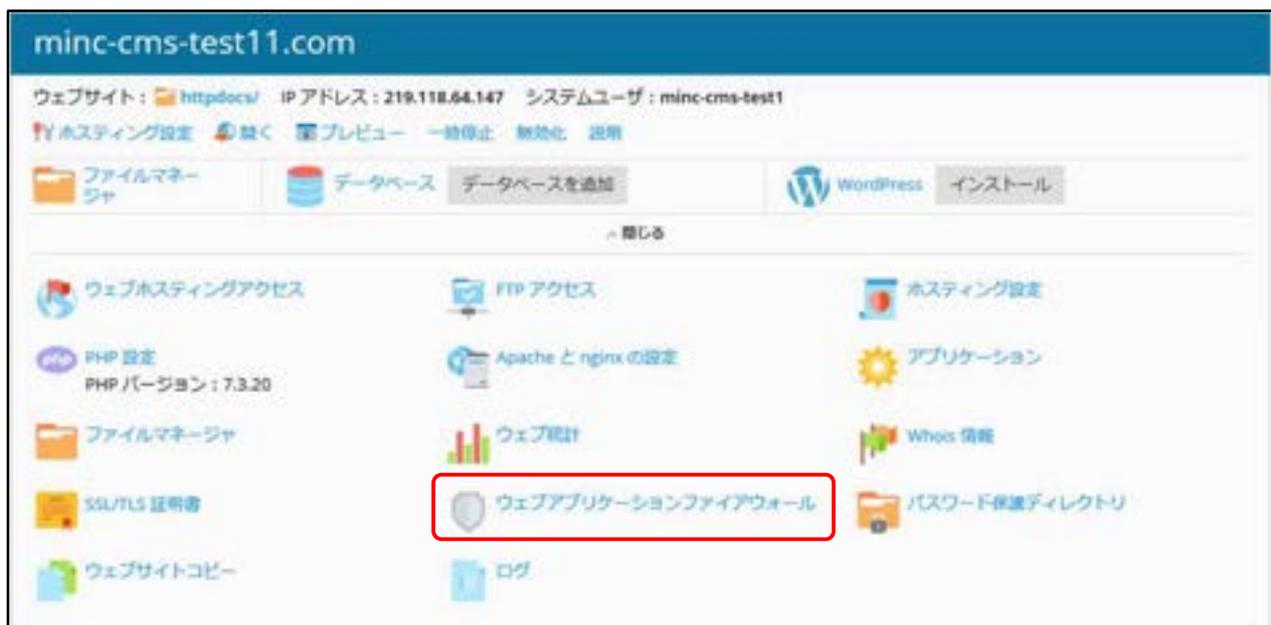
\*必須フィールド

OK 適用する キャンセル

## ウェブアプリケーションファイアウォール

「ウェブアプリケーションファイアウォール」は、ウェブサイトで使用するウェブアプリケーションをさまざまな攻撃から保護するよう構成します。ウェブアプリケーションに対する攻撃を検出して防御するために、ウェブアプリケーションファイアウォール（ModSecurity）で、ウェブサーバへのすべての要求およびサーバからの関連する応答がルールセットに対してチェックされます。チェックに通過すると、HTTP 要求はウェブサイトコンテンツに渡されます。チェックに検知されると、定義済みのアクションが実行（通常は遮断）されます。

(1)[ウェブアプリケーションファイアウォール]をクリックしてください。



(2)「ウェブアプリケーションファイアウォール」画面は、以下の3つの部分から構成されています。

The screenshot shows the configuration interface for the Web Application Firewall (ModSecurity) on the minc CMS. The page is titled "minc-cms-test11.com のウェブアプリケーションファイアウォール" and includes the following sections:

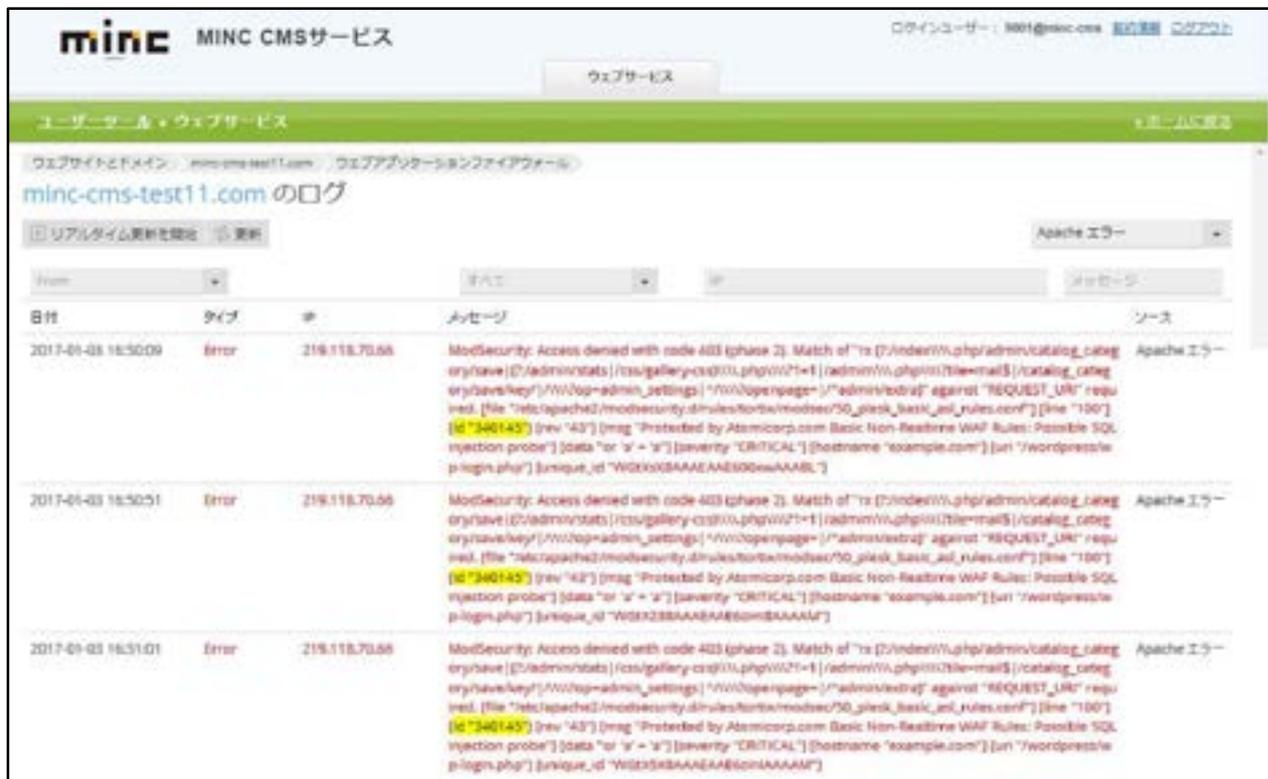
- ① ウェブアプリケーションファイアウォールのモード:** This section allows selecting the firewall mode. The "オフ" (Off) option is selected. A note states: "※各 HTTP 要求および関連する応答はチェックされません。" (Note: Each HTTP request and related response is not checked).
- ② エラーログ:** This section explains that when the mode is changed from "オフ" or "検出のみ" (Only Check) to "オン" (On), the firewall's operation may stop. It advises checking the error log for confirmation and provides a link to "エラーログファイル" (Error Log File).
- ③ セキュリティルールをオフにする:** This section explains that security rules can be turned off. It notes that this is useful when a specific rule causes trouble. It lists rule IDs (e.g., 34900) and tags (e.g., CVE-2011-4808) that can be used to identify rules. A note at the bottom of this section states: "ご契約のサービスではセキュリティルールのタグは提供していません。" (The tags of the security rules are not provided for the service you are subscribed to).

At the bottom of the page, there are buttons for "OK", "適用する" (Apply), and "キャンセル" (Cancel).

①	<p>ウェブアプリケーションファイアウォールのモードが、<b>[オフ][検出のみ][オン]</b>より選択できます。<b>※デフォルトの設定は「オン」となります。</b></p> <p><b>[オフ]</b>：ファイアウォール機能を無効化します。</p> <p><b>[検出のみ]</b>：ファイアウォールの監視機能のみを有効化し、認知した脅威をログに記録します。</p> <p><b>[オン]</b>：ファイアウォール機能を有効化し、脅威を認知した場合はログに記録を行い規定の応答を返します（通常は遮断）。</p>
②	<p><b>[エラーログファイル]</b>：過去 1 カ月分のエラーログが確認できます。</p> <p>※「ウェブサイトとドメイン」画面の「ログ」画面と同様のページとなります。</p>
③	<p><b>「セキュリティルール ID」</b>：無効化するセキュリティルールを指定できます。</p> <p>※「タグ」の項目に関しては、ご契約いただいているサービスでご指定いただく必要はございません。</p>

**特定のセキュリティルールをオフにする**

(1)本機能が、ご利用のウェブアプリケーションの動作に干渉する場合、特定のセキュリティルールだけを無効にする事が出来ます。無効にしたいルール ID を**[エラーログファイル]**より確認します。



※上記は意図的に SQL インジェクションの攻撃を起こした場合のサンプルログとなります。

この場合のルール ID は「340145」となっております。

## (2)ウェブアプリケーションファイアウォール画面の

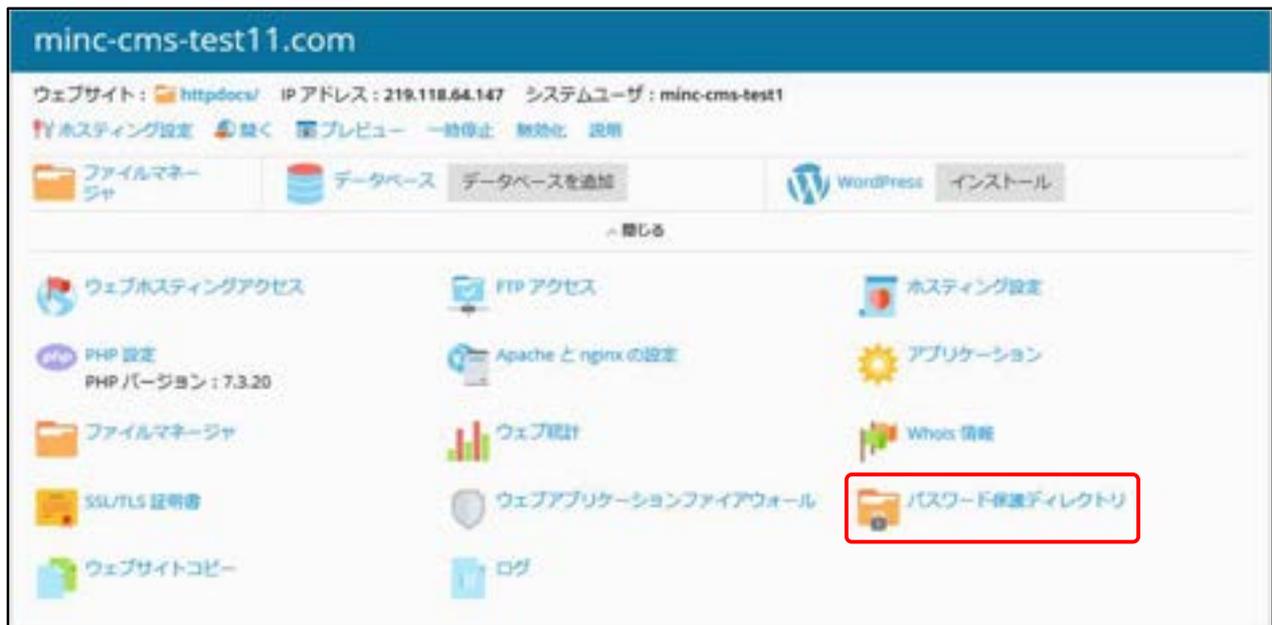
「セキュリティルールID」に例示 [id "340145"]部分の""の間に記載の数字(この例の場合 340145)を入力して、**[OK]**をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "セキュリティルールをオフにする" (Disable Security Rule). The main text explains that security rules can be disabled for specific websites, but it is necessary to specify the rule ID (e.g., 340003), tags (e.g., CVE-2011-4898), or rule message IDs (e.g., XSS) used in the rule message. The "セキュリティルールID" (Security Rule ID) field contains the value "340145", which is highlighted with a red box. Below this, there are two "タグ" (Tag) sections: "アクティブ:" (Active) and "非アクティブ:" (Inactive). Each section has a search input and a list area. The "アクティブ:" section shows a message "使用可能なオブジェクトがありません。" (No usable objects available). The "非アクティブ:" section shows a message "選択されたオブジェクトがありません。" (No selected objects available). A central message box says "オブジェクトをクリックするが、チェックボックスを使用してください" (Click the object but use the check box). At the bottom, there are three buttons: "OK" (highlighted with a red box), "適用する" (Apply), and "キャンセル" (Cancel). The "必須フィールド" (Required field) label is also visible.

## パスワード保護ディレクトリ

ウェブサイトの特定のディレクトリへのアクセスをパスワードで制限する事が出来ます。  
サイトの一部のディレクトリに許可されたユーザーのみが閲覧できるように、パスワード保護を行い、これらのディレクトリへのアクセスを制限します。

(1)[パスワード保護ディレクトリ]をクリックします。



(2) 「パスワード保護ディレクトリ」画面は、以下の2つの部分で構成されています。



①	<p><b>[保護ディレクトリを追加]</b>：保護ディレクトリの追加作成を行えます。</p> <p>作成した保護ディレクトリを管理します。</p> <p><b>[保護を解除する]</b>：選択したディレクトリの保護を削除します。削除するディレクトリにチェックを入れて、<b>[保護を解除する]</b>をクリックします。</p> 
②	<p><b>[検索]</b>：ディレクトリ名で保護されたディレクトリが検索されます。</p> <p><b>[検索結果をリセット]</b>：検索結果をリセットし、すべての保護ディレクトリが表示されます。</p> <p><b>[名前]</b>：保護ディレクトリ名を表示します。クリックすると、該当の保護ディレクトリの詳細設定が行えます。</p> <p><b>[保護エリアのタイトル]</b>：設定した保護エリアのタイトルを表示します。クリックすると、該当の保護ディレクトリの詳細設定が行えます。</p>

### 保護ディレクトリの作成

(1) 「パスワード保護ディレクトリ」画面で、**[保護ディレクトリを追加]**をクリックします。



(2)「保護ディレクトリを追加」画面は以下の構成となります。

ディレクトリ名	<p>パスワード保護するディレクトリのパスを指定します。 これは、たとえば /private など、サイト内に存在するディレクトリです。 保護したいディレクトリがまだ作成されていない場合は、パスとディレクトリ名を指定すれば、自動的に作成します。 ※/private/のようにフォルダ名の末尾にスラッシュは入れないでください。</p>
保護エリアのタイトル	<p>入力欄に、管理用の説明を入力します。 ※ブラウザによってパスワード認証画面に表示される場合があります。</p>

(3)この設定で指定したディレクトリにパスワードがかかります。このページの認証に必要なユーザーアカウントは、後述の「保護ディレクトリのユーザーアカウント作成」で設定してください。

## 保護ディレクトリの設定変更

作成した保護ディレクトリの設定内容を変更できます。

保護ディレクトリの詳細設定は、ユーザーの追加/削除やディレクトリ設定などができます。

(1) 「パスワード保護ディレクトリ」画面で、「保護ディレクトリ名」をクリックします。



(2) 「保護ディレクトリの詳細設定」画面は、以下の2つの部分で構成されています。



<p>①</p>	<p><b>[ユーザーを追加]</b>：保護ディレクトリにアクセスできるユーザーを追加できます。</p> <p><b>[ディレクトリ設定]</b>：保護ディレクトリの修正ができます。</p>  <p>「ディレクトリ名」：パスワード保護するディレクトリのパスを指定します。入力したディレクトリが存在しない場合は自動的に作成されます。</p> <p>「保護エリアのタイトル」：入力欄に、管理用の説明を入力します。</p> <p>※ブラウザによってパスワード認証画面に表示される場合があります。</p>
<p>②</p>	<p><b>[削除]</b>：選択した保護ディレクトリユーザーを削除します。削除する保護ディレクトリユーザーを先にチェックを入れ、<b>[削除]</b>ボタンを押してください。</p> <p><b>[検索]</b>：保護されたディレクトリユーザーを検索します。</p> <p><b>[検索結果をリセット]</b>：検索結果をリセットし、すべての保護ディレクトリユーザーを表示します。</p> <p><b>[名前]</b>：クリックすると保護ディレクトリユーザーのパスワードの設定が行えます。</p>  <p>「新規パスワード」：新規パスワードを入力します。</p> <p>「パスワード確認」：確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</p>

## 保護ディレクトリのユーザアカウント作成

作成した保護ディレクトリに認証するためのユーザアカウントを作成します。

(1) 「パスワード保護ディレクトリ」画面で、ユーザアカウントを作成したい「保護ディレクトリ名」をクリックします。



(2) 該当の「保護ディレクトリの詳細設定」画面が表示されますので、[ユーザーを追加]をクリックします。



(3) 「ユーザーを追加」画面は以下の構成となります。

ユーザー名	保護されたエリアへのアクセスに設定するユーザー名を入力してください。
新規パスワード	保護されたエリアへのアクセスに設定するパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に使用した文字列は入力できません。

## ウェブサイトコピー

「ウェブサイトコピー」機能を利用し、サーバー上の別ドメインにサイトデータをコピーすることができます。稼働中のウェブサイトに対し大規模な変更を計画している場合など、事前検証用のテストサイト(ステージングサイト)を作成することができます。

※インターネットユーザがステージングサイトにアクセスできないようにするには、.htaccess ファイルの設置や、**[パスワード保護ディレクトリ]**を使用してアクセスを制限してください。

(1) **[ウェブサイトコピー]**をクリックします。



(2) 「ウェブサイトコピー」画面は、以下のように構成されています。

minc CMSサービス

ログインユーザー: k991@minc.com 無印通知 ログアウト

ウェブサイト

ユーザーツール > ウェブサービス

ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン: minc-cms-test11.com

### minc-cms-test11.com ファイルをコピーする

ウェブサイトファイルは、あなたがこのアカウントでホストする別のサイトまたは FTP ストレージにコピーします。このようなコピー操作は、非標準ウェブサイトの大規模な変更を計画している場合に便利です。このような場合、サイトをステージング環境に複製し、デザイナーとプログラマーが複製サイトとして作業できるように、非標準サイトを中継する必要があります。サイトファイルのコピーは、サイト複製作業の一部です。複製を完了するためには、サイトで使用するデータベースもコピーする必要があります。ステージング環境として使用するサイトがない場合、このために新しいドメインを追加することも、サブドメインを追加することもできます。

コピー先

サイトファイルのコピー先を選択  Peak 内のウェブサイト

このアカウントでホスティングしている別のサイトにサイトファイルのコピーします。このサーバ上の他のアカウントへの FTP アクセスが可能な場合は、「FTP ストレージ」オプションを使用してください。

サイト名:

既存ファイルに対して行う操作

既存ファイルのコピー先サイトに格納  
コピー先サイトにある同名の既存する既存ファイルを上書きします。

すべての既存ファイルを削除する  
コピー先サイト内の全ファイルをコピー前に削除します。

FTP ストレージ

このサーバまたは別サーバ上の FTP アカウントにウェブサイトファイルのコピーします。

サーバホスト名:

ポート:

ディレクトリ:

ユーザー:

パスワード:

FTP 接続方法

アクティブモード

アクティブモードでは、Peak は Open する IP アドレスとポート番号を外部サーバに送信し、そのサーバに TCP 接続を開始します。Peak で管理するサーバ/ファイアウォールで保護されていない場合、このモードを推奨します。

パッシブモード

パッシブモードは、Peak で管理するサーバ/ファイアウォール内にあり、要請 TCP 接続を受け付けられない場合に使用可能です。

\* 必須フィールド

OK キャンセル

ステージングサイトの開発環境を準備する場所などを設定します。

**[Plesk 内のウェブサイト]** : 同じサーバー上の別サイトにコピーを作成します。

「サイト名」 : コピー作成先のドメインまたはサブドメインを選択します。

※あらかじめ別のサブドメインを追加しておく必要があります。

「既存ファイルに対して行う操作」 を下記から選択します。

**[既存ファイルをコピー先サイトに残す]**では、コピー先サイトにある名前の重複する既存ファイルを上書きしてコピーします。

**[すべての既存ファイルを削除する]**では、コピー先サイト内の全ファイルをコピー前に削除します。

**[FTP ストレージ]** : 外部サーバーに FTP にてウェブサイトファイルをコピーします。

「サーバホスト名」 : コピー先のサーバホスト名を入力します。

「ポート」 : ポート番号が表示されます。

「ディレクトリ」 : コピー先のディレクトリを入力します。

「ユーザー名」 : コピー先の FTP ユーザー名を入力します。

「パスワード」 : コピー先の FTP パスワードを入力します。

「FTP 接続方法」 : コピー先の FTP アカウントへの接続方法を[アクティブモード]または[パッシブモード]から選択できます。

※通常は [アクティブモード] オプションを選択します。

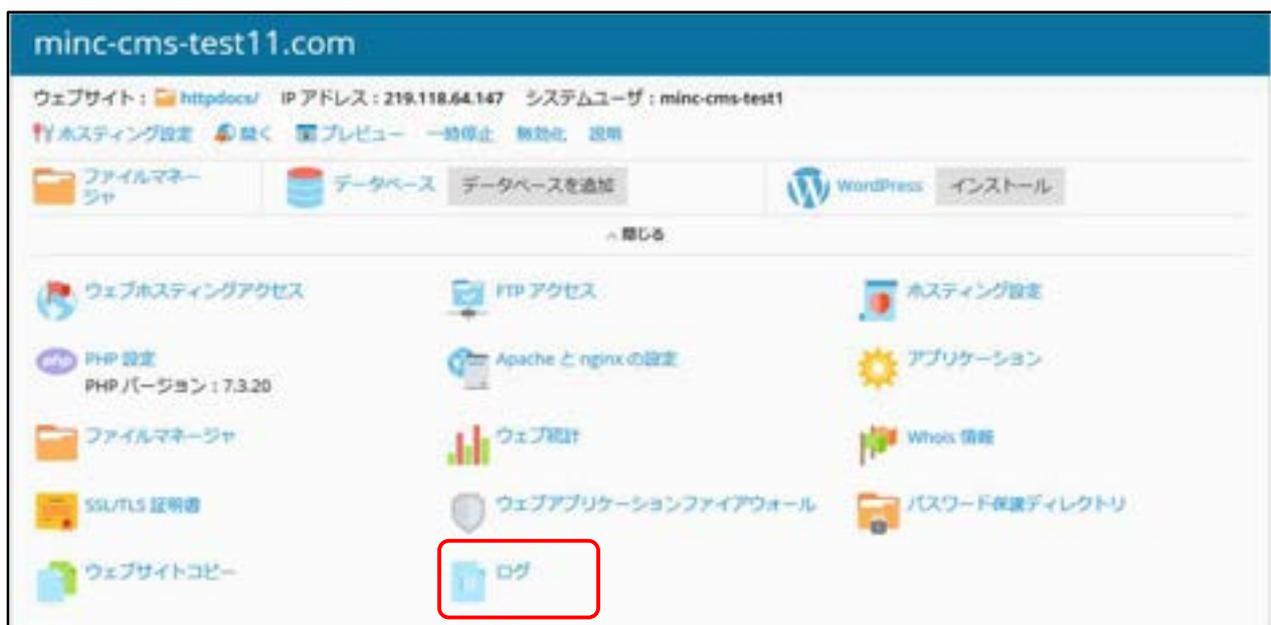
## ログ

ウェブサーバの過去 1 ヶ月分のログを解析し、関連する警告とエラーメッセージを表示します。  
ユーザーツールでは、以下のログの情報が表示されます。

- Apache アクセス(access\_log) :  
このログは、ウェブサーバに処理されたすべての HTTP 要求を記録します。
- Apache SSL アクセス(access\_ssl\_log) :  
このログは、ウェブサーバに処理されたすべての HTTPS 要求を記録します。
- Apache エラー(error\_log) :  
要求の処理中にウェブサーバに発生したすべてのエラーが記録されます。また、このログには、「ウェブアプリケーションファイアウォール」の診断情報も含まれます。

## ログを確認

(1)[ログ]をクリックします。



(2) 「ログ」画面は、以下の3つの部分で構成されています。

※「ログ」をクリックした時点までの「スナップショット」が表示されます。

新たにロギングされるメッセージは表示されません。

日時	タイプ	IP	コード	メッセージ	ステータス	エージェント	サイズ	ソース
2021-06-13 13:18:34	Access	219.118.64.147	200	GET /_index.php HTTP/1.1	成功		111 B	Apache アクセス
2021-06-13 14:06:09	Access	219.118.64.147	200	GET /_string.php HTTP/1.1	成功		493	Apache アクセス
2021-06-13 14:06:09	Access	219.118.64.147	200	GET /_admin.php HTTP/1.1	成功		689	Apache アクセス
2021-06-13 15:37:30	Error	128.28.41.96	401	GET /_index.php HTTP/1.1	失敗		703	Apache アクセス
2021-06-13 15:37:33	Error	128.28.41.96	401	GET /_string.php HTTP/1.1	失敗		704	Apache アクセス

① **【リアルタイム更新を開始】**：新しいログを継続的にリストに追加できます。  
 ※**【リアルタイム更新を開始】**をクリックすると、**【リアルタイム更新を停止】**に変わります。  
 リアルタイム更新を停止する場合は、[ここ](#)をクリックします。

**【更新】**：ロギング済みメッセージのリストは、**【更新】**をクリックして更新できます。

**【すべてのログ】**：ログの種類ごとで絞り込みを行えます。また、ログファイル管理が行えます。

---

② 「**From**」：ログの日時を指定し、検索したい日時のログを表示します。  
 ●(時)：●(分) ●(日)●(月) ●●●●(年)と入力します。

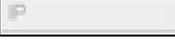
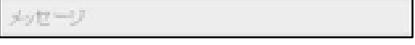
00 : 00 01 1月 2000 適用 クリア  
 時間前 前日

**【適用】**：入力した日時で検索します。  
**【クリア】**：検索をキャンセルします。

**【時間前】**：現在の約1時間前の日付時間が設定されます。  
**【前日】**ボタン：を押すと、現在の1日前の日時が設定されます。

「**すべて**」：ログの状態から検索します。  
 ログの状態は「Access」「Warning」「Error」から絞り込み検索できます。  
 検索したい項目にチェックを入れてください。

Access  
 Warning  
 Error

	<p>「」: IP アドレスから検索します。</p> <p>「」: ステータスコードから検索します。</p> <p>「」: ログメッセージから検索します。</p>
③	<p>「日付」: ログの日時を表示します。</p> <p>「タイプ」: ログの状態「Access」「Warning」「Error」を表示します。        ※ログの状態によりログの表示色が変わります。        「Access」: 黒色、「Warning」: オレンジ色、「Error」: 赤色で表示されます。</p> <p>「IP」: IP アドレスを表示します。</p> <p>「コード」: ステータスコードを表示します。</p> <p>「メッセージ」: ログメッセージを表示します。</p> <p>「R」: どのリンクからページが表示されたのかを表示します。        ※「」 オンマウスで URL を確認できます。</p> <p>「エージェント」: ファイルにアクセスした際のパソコン情報、及びブラウザ情報を表示します。        ※「」: エージェント情報を取得している場合のアイコンです。        ※「」 エージェント情報を取得していない場合のアイコンです。</p> <p>「サイズ」: ログサイズを表示します。</p> <p>「ソース」: 対象ログの種類を表示します。</p>

## バックアップマネージャ

データバックアップ機能と復元機能を使用して、以下の操作を実行できます。

- ・個別ユーザアカウントのバックアップ（ウェブサイトを含む）。
- ・個別契約（ウェブスペース）をバックアップする
- ・バックアップをスケジュールする。
- ・バックアップアーカイブからデータを復元する。

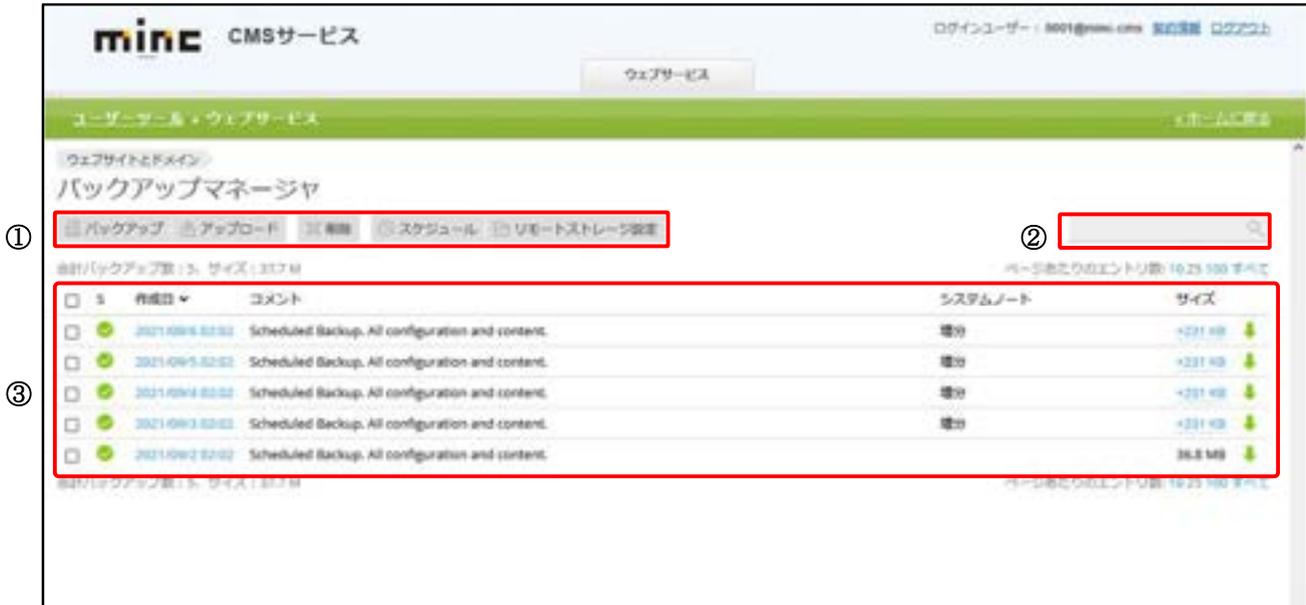
これらの作業は、【バックアップマネージャ】から行います。



データベース画面からもバックアップマネージャに遷移することが可能です。



「バックアップマネージャ」画面は、以下の3つの部分で構成されています。



<p>①</p>	<p><b>[バックアップ]</b>: バックアップを作成します。</p> <p><b>[アップロード]</b>: ローカルコンピュータからサーババックアップストレージにバックアップファイルを上ロードします。</p> <p><b>[削除]</b>: 選択したバックアップをサーバストレージから削除します。</p> <p><b>[スケジュール]</b>: スケジュールしたバックアップタスクの設定を指定します。</p> <p><b>[リモートストレージ設定]</b>: バックアップファイルを保存するリモート FTP ストレージの設定を指定します。</p>
<p>②</p>	<p>検索ボックス: バックアップの検索ができます。</p>
<p>③</p>	<p>バックアップした情報を表示します。</p> <p>「S」: 有効なバックアップで、データの復元が可能な場合、緑のチェックマークが表示されます。</p> <p>「作成日」: バックアップの作成日を表示します。</p> <p>※バックアップから復元を行う際には復元したいバックアップの作成日をクリックし、復元する事が出来ます。</p> <p>「コメント」: バックアップ作成時に設定した任意のコメントが表示されます。</p> <p>「システムノート」: バックアップの種類が表示されます。</p> <p>「サイズ」: バックアップの容量が表示されます。</p>

## バックアップを作成

以下のデータをバックアップできます。

- ・「ドメイン構成」: このバックアップはサイズが小さく、構成に問題がある場合にサイト設定を復元するのに便利です。
- ・「ユーザファイルおよびデータベース」: このタイプのバックアップでは、データベースを含め、すべてのウェブサイトのコンテンツも保存されるため、ディスクスペースが余分に必要となります。このバックアップは、データの損失を防ぐために最適です。

(1)バックアップマネージャ画面の[バックアップ]をクリックします。

(2)「契約のバックアップ」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

The screenshot shows the 'minc CMSサービス' interface. The main content area is titled '契約のバックアップ'. It is divided into two sections:

① **バックアップのコンテンツ**

- バックアップ:**  ドメイン構成,  メール構成とコンテンツ,  ユーザファイルおよびデータベース
- 保存場所:** サーバストレージ  
クラウドにバックアップを保存するには、リモートストレージを構成できます
- タイプ:**  フル,  差分  
前回のバックアップ後に変更されたウェブホスティングデータをバックアップします。  
(データベースデータは常にフルバックアップされます)。

② **バックアップ設定**

- コメント:** すべての構成とコンテンツ
- ログファイルを除外
- バックアップから特定のファイルを除外
- バックアップタスクの完了時に、次の宛先に通知メールを送信
- バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止  
バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラードキュメントページに、検索エンジンフレンドリーなHTTPコード503でリダイレクトされます。

Buttons: OK, キャンセル

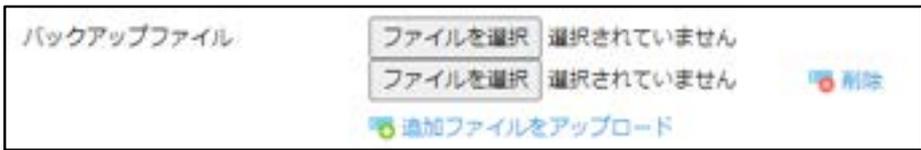
①	<p>「バックアップ」:[ドメイン構成]はデフォルト選択となり、除外できません。または[ユーザファイル及びデータベース]が選択できます。</p> <p>※「メールの構成とコンテンツ」は選択可能な状態ですが、この項目はご利用いただけません。当該項目はメールの構成、及びメールのコンテンツに関するバックアップの設定項目となりますが、ご提供しているホスティング環境はメール環境と独立しているため、当該機能を対応していません。</p> <p>※[ドメイン構成]のバックアップ内容：        サイト構成、データベースの設定および構成、SSL 証明書</p> <p>※[ユーザファイル及びデータベース]のバックアップ内容：        上記[ドメイン構成]に加え、データベースのデータ、サイトのコンテンツデータ、ログおよび統計情報、カスタムエラーページ</p> <p>「保存場所」:[サーバストレージ]または[FTP ストレージ]から選択できます。</p> <p>※FTP ストレージ設定が完了していない場合は、[リモートストレージ設定を構成]リンクが表示されません。</p> <p>「タイプ」:[フル]または[増分]から選択できます。</p> <p>「フル」:バックアップを作成するたびに、データの最終更新日時を問わずすべてのデータがバックアップに含まれます。</p> <p>「増分」:増分バックアップには、前回バックアップを作成した日時以降に変更されたデータのみが含まれます。</p> <p>※増分バックアップを使用すると、バックアップの処理時間が飛躍的に短縮され、バックアップファイルが占有するディスク容量を抑えることができます。</p> <p>※バックアップの種類が[ドメイン構成]で選択している場合は、タイプは[フル]のみとなります。</p>
②	<p>「コメント」:バックアップの内容について任意でコメントを残せます。</p> <p>「ログファイルを除外」:ログファイルを除外してバックアップします。</p> <p>「バックアップから特定のファイルを除外」:ウェブスペース内のファイルのみを除外できます。選択した場合、ウェブスペースのルートに基づいて相対パスを指定し、除外したファイルを指定できます。</p> <div data-bbox="263 1473 970 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>バックアップから特定のファイルを除外</p>  </div> <p>「バックアップタスクの完了時に、次の宛先に通知メールを送信」:送信する場合、項目にチェックを入れ、受信可能なメールアドレスを入力してください。</p> <p>「バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止」:バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラーロードキュメントページに、検索エンジンに対応する HTTP コード 503 でリダイレクトされます。</p>

## バックアップファイルのアップロード

ローカルコンピュータにダウンロードし、保存していたバックアップデータをサーバーへアップロードする際に本機能を利用します。

(1)バックアップマネージャ画面で**[アップロード]**をクリックします。

(2)「アップロード」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

<p>①</p>	<p>「バックアップファイル」: アップロードするバックアップファイルを選択できます。</p> <p><b>[追加ファイルをアップロード]</b>: バックアップファイルが複数ある場合に追加できます。</p> <p><b>[削除]</b>: をクリックすると、追加した欄やファイルが削除できます。</p> 
<p>②</p>	<p>「パスワード保護を使用する」: バックアップがパスワードで保護されている場合は、チェックを入れます。</p> <p>「パスワード」: パスワードを入力してください。</p>

## バックアップを復元

(1)復元したいバックアップデータの選択。

バックアップからデータを復元したい場合は、バックアップマネージャのバックアップ一覧画面から、復元したいバックアップの「作成日」をクリックします。



ここでは作業例として、「ドメインの構成とコンテンツ」を含むフルバックアップデータを選択します。

(2)復元したいデータを選択します。

※補足：ここで選択したバックアップデータをローカルにダウンロードしたい場合は、「ダウンロード」のリンクをクリックして頂くと、「バックアップファイルのダウンロード」画面が開き、ダウンロードが出来ます。



バックアップの内容	バックアップの内容に応じて「ドメインの構成とコンテンツ」か「ドメイン構成」が表示されます。
復元対象範囲	「選択したオブジェクト」「すべてのオブジェクト（システム全体）」のどちらかを選択出来ます。「選択したオブジェクト」を選択する場合は、「復元対象オブジェクトのタイプ」の選択項目が表示されます。
復元対象オブジェクトのタイプ	上記の「復元対象範囲」で「選択したオブジェクト」を選択した場合、復元項目を選択する事ができます。 データベース：データベース定義及び、データベースのデータ SSL 証明書：サイトで利用している独自ドメインの SSL 証明書 サイト：各サイトのウェブサーバの設定情報及びコンテンツデータ ドメインのファイル：ウェブサイトのコンテンツデータ

<p>復元オプション</p>	<p>「選択したオブジェクトの構成とコンテンツ」「選択したオブジェクトの構成のみ」のどちらかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択したオブジェクトの構成とコンテンツ データベース：データベース定義及び、データベースのデータ SSL 証明書：サイトで利用している独自ドメインの SSL 証明書 サイト：各サイトのウェブサーバの設定情報及びコンテンツデータ ドメインのファイル：ウェブサイトのコンテンツデータ</li> <li>・ 選択したオブジェクトの構成のみ データベース：データベース定義のみ SSL 証明書：サイトで利用している独自ドメインの SSL 証明書 サイト：各サイトのウェブサーバの設定情報のみ ドメインのファイル：ウェブサイトのコンテンツデータ</li> </ul>
<p>復元が完了するまでドメインを一時停止</p>	<p>復元処理中は、検索エンジンに対応する HTTP コード 503 が表示されます。</p>
<p>復元作業の完了時に通知を送信</p>	<p>復元作業が完了した際に、メールで結果を報告する事が出来ます。</p>

復元対象オブジェクトのタイプで「SSL 証明書」を選択した際の画面表示例。

※復元可能な SSL 証明書を選択できる画面が表示されます。



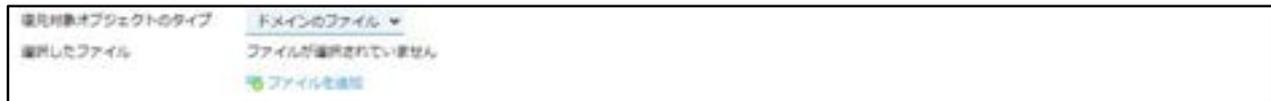
復元対象オブジェクトのタイプで「サイト」を選択した際の画面表示例。

※復元可能なサイトを選択できる画面が表示されます。



復元対象オブジェクトのタイプで「ドメインのファイル」を選択した際の画面表示例。

※「ファイルを追加」のリンクが表示されるので、クリックし、復元したいファイルを選択します。



ファイル選択画面の表示例



復元したいファイルやディレクトリを選択し「OK」ボタンを押します。

## バックアップファイルの削除

バックアップストレージからバックアップファイルを削除することができます。

不要なバックアップを削除、またはディスクスペースを確保したい際に行います。

(1)削除対象のバックアップファイルにチェックを入れて、**[削除]**をクリックします。



(2)確認メッセージが表示されます。

削除する場合は**[はい]**、削除をやめる場合は**[いいえ]**をクリックします。



## バックアップのスケジュール

バックアップタスクをスケジュール化して自動実行できるようにすることができます。

- (1)バックアップマネージャ画面で[スケジュール]をクリックします。
- (2)「スケジュール」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

minc MINC CMSサービス ログインユーザー: 8891@minc.com 設定通知 ログアウト

ユーザーツール・ウェブサービス ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン | バックアップマネージャ

### スケジュール済みバックアップの設定

#### スケジュール

このバックアップタスクをアクティブにする

バックアップタスクの実行スケジュール  
毎日 01:00  
タイムゾーン: JSTC+09:00 Asia/Tokyo

増分バックアップを使用

フルバックアップを実行

バックアップファイルの保存期間  日  
フルバックアップを自動削除しない場合、このフィールドは空欄にしてください。

#### バックアップ設定

バックアップ  ドメイン構成  
 メール構成とコンテンツ  
 ユーザファイルおよびデータベース

保存場所 サービスストレージ  
クラウドにバックアップを保存するには、リモートストレージを構成できます。

ログファイルを除外

バックアップから特定のファイルを除外

このバックアップタスクを実行中にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信

バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止  
バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラードキュメントページに、検索エンジンフレンドリーなHTTPコード303でリダイレクトされます。

OK 適用する キャンセル

①	<p>「このバックアップタスクをアクティブにする」：設定したバックアップスケジュールを有効にする際にチェックを入れます。</p> <p>「バックアップタスクの実行スケジュール」：バックアップをいつ、どのような頻度で実行するかを指定をします。</p> <p>「増分バックアップを使用」：ディスクスペース使用量を抑え、バックアッププロセスの実行時間を短縮する場合にチェックを入れます。</p> <p>「フルバックアップを実行」：フルバックアップを実行する頻度を指定します。  ※「増分バックアップを実行」にチェックが入っている場合に表示。</p> <p>「バックアップファイルの保存期間」：古いバックアップを自動削除する場合は、バックアップファイルの保存期間を指定します。フルバックアップを自動削除しない場合、このフィールドは空欄にしてください。</p> <p>※バックアップはご契約のディスク容量を気づかない内に圧迫しますので、長くても2週間程度で削除される事をお勧め致します。</p>
②	<p>「バックアップ」：[ドメイン構成]はデフォルト選択となり、除外できません。[ユーザファイル及びデータベース]が選択できます。</p> <p>※「メールの構成とコンテンツ」は選択可能な状態ですが、この項目はご利用いただけませんが、当該項目はメールの構成、及びメールのコンテンツに関するバックアップの設定項目となりますが、ご提供しているホスティング環境はメール環境と独立しているため、当該機能に対応していません。</p> <p>「保存場所」：[サーバストレージ]または[FTP ストレージ]から選択できます。  ※FTP ストレージ設定が完了していない場合は、FTP ストレージ設定リンク[リモートストレージを構成]が表示されます</p> <p>「ログファイルを除外」：チェックした場合、ログファイルはバックアップから除外されます。</p> <p>「バックアップから特定のファイルを除外」：ウェブスペース内のファイルのみを除外できます。選択した場合、ウェブスペースのルートを基準にして相対パスを指定し、除外したファイルを指定できます。</p> <p>「このバックアップタスクを実行中にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信」：バックアップエラー発生時のメール通知。バックアップでエラーが発生した場合にメール通知を送信するには、受信可能なメールアドレスを入力してください。</p> <p>「バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止」：このオプションを選択すると、ウェブサイトのバックアップ中にコンテンツや設定を変更すること禁止されます。</p>

## リモートストレージ設定

バックアップを外部の FTP サーバーに保存する際に有効な機能となります。

※弊社のサービスとは別に外部サーバーをお持ちの場合にご利用頂ける機能となります。

(1)バックアップマネージャ画面の[リモートストレージ設定]をクリックします。

(2)リモートストレージ設定画面の[FTP]をクリックします。



(3)FTP ストレージ設定画面は、以下の内容から構成されています。



①	<p>「FTP ストレージを使用」:バックアップファイルの保存に FTP サーバーを使用する場合は、チェックを入れます。</p> <p>「FTP サーバーのホスト名または IP」: FTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。</p> <p>「バックアップファイルストレージのディレクトリ」: バックアップファイルの保存先サーバーのディレクトリを入力します。</p> <p>「FTP ユーザー名」: FTP サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。</p> <p>「FTP パスワード」: FTP サーバーにアクセスするユーザー名のパスワードを入力します。</p> <p>「パッシブモードを使用」: FTP パッシブモードの使用の有無となります。指定した FTP サーバーへの接続が失敗する場合、このオプションをオンにしてお試しください。「FTP ストレージ設定」画面で<b>[OK]</b>をクリックすると接続をテストが実行されます。</p> <p>「FTPS を使用」: FTPS の使用の有無となります。FTP サーバーがこのプロトコルをサポートする場合、これを使用してセキュリティを強化することができます。</p>
---	---

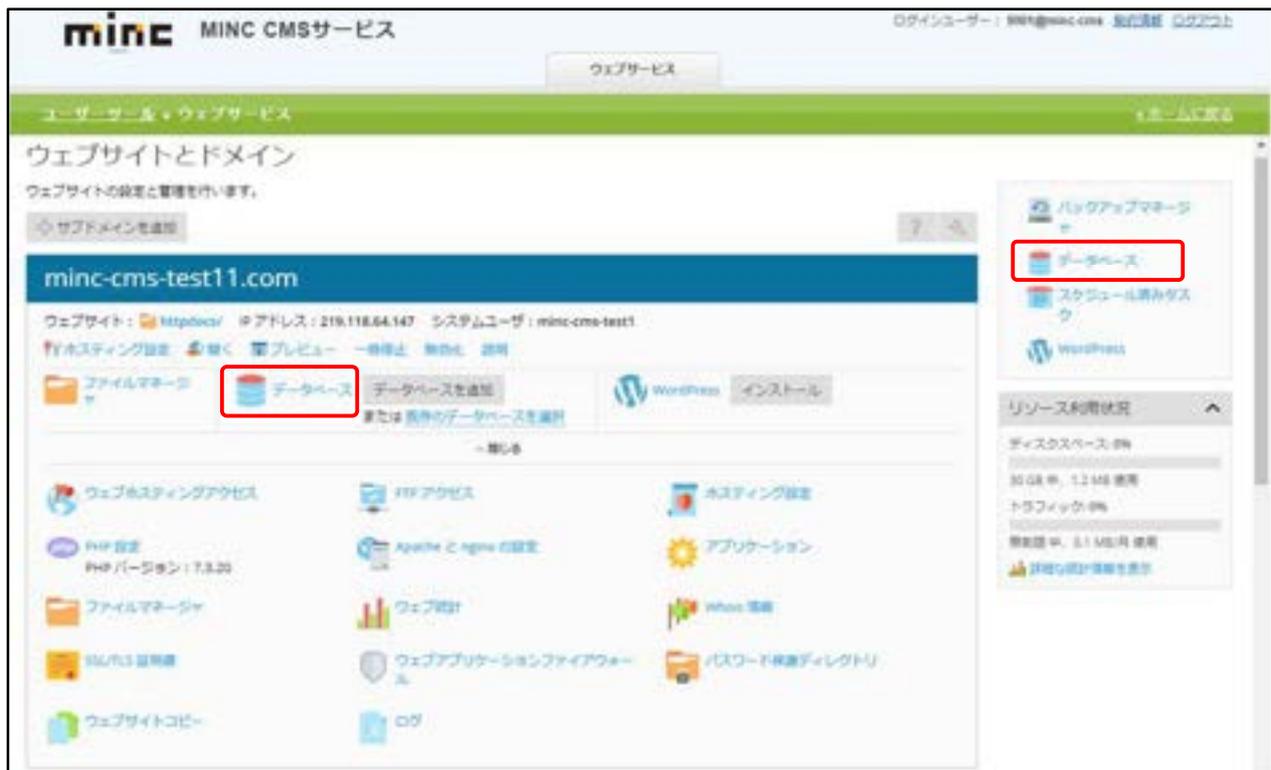
## データベース

ウェブサイトにデータベースを参照するアプリケーションを組み込む、またはウェブページを動的に生成するには、ほとんどの場合、データの保存や取得のためのデータベースが必要になります。

ユーザーツールでは、以下を実行することができます。

- ・手動でサイトのデータベースを作成する。
- ・データベースのコピーを作成する。
- ・データベースユーザアカウントの管理とアクセスルールのセットアップを行う。
- ・接続情報を表示する（ホスト名、データベース名、ユーザー名）。
- ・データベースに問題がないかチェックし、データベースを修復する。
- ・データベースダンプをエクスポート/インポート、またはバックアップする。
- ・phpMyAdmin または phpPgAdmin でデータを管理する。

これらの作業は、**[データベース]** から行います。



## データベースの画面構成

データベース画面は、以下の 5 つの部分から構成されています。

※データベースがまだ作成されていない場合は、②～④は表示されません。



①	データベースの追加や、表示内容の設定項目です。 <b>[データベースを追加]</b> ボタンを押すと、データベースの新規作成が行えます。 <b>[データベースリスト設定]</b> ：データベースの並び替えや表示モードの変更が行えます。
②	データベース名と関連付けされた管理画面が表示されます。 MySQL の場合は <b>[phpMyAdmin]</b> 、PostgreSQL の場合は <b>[phpPgAdmin]</b> へのリンクボタンがあります。
③	ホスト名、ユーザー情報、容量などが表示されます。
④	データベースに関わる様々なツールアイコンが表示されます。 <b>[phpMyAdmin]/[phpPgAdmin]</b> ：このリンクからデータベース管理画面にアクセスすることができます。 ※データベースのタイプに応じてリンクは異なります。 <b>[接続情報]</b> ：ホスト名やデータベースユーザーのアカウント情報など、データベースの接続に必要な情報が確認できます。 <b>[コピー]</b> ：データベースの完全なコピーの作成を行う、またはデータベースのコンテンツを既存データベースにコピーすることができます。 <b>[ダンプをエクスポート]</b> ：データベースのコピーをエクスポートできます。 <b>[ダンプをインポート]</b> ：データベースのコピーをインポートできます。 <b>[チェックして修復]</b> ：テーブル構造の破損などの問題をチェックし、修復できます。 <b>[データベースを削除]</b> ：データベースを削除できます。
⑤	データベースユーザーを作成、更新、削除できます。

## データベースの作成

(1) 「データベース」画面の[データベースを追加]をクリックします。



(2) 「データベースを追加」画面は、以下の2つの部分から構成されています。



①	<p>データベース全般の設定ができます。</p> <p>「データベース名」: データベースの名前を指定します。</p> <p>「データベースサーバー」: 作成するデータベースサーバーを MySQL または PostgreSQL から選択できます。</p> <p>「関連サイト」: データベースを使用するウェブサイトを選択できます。</p>
②	<p>新しいデータベースユーザーを作成するための設定ができます。</p> <p>「新しいデータベースユーザーを作成」: データベースユーザーの新規作成をする場合はチェックを入れてください。</p> <p>※データベースには、ユーザーが 1 人以上紐付けられている必要があります。ユーザーが紐付けられていない場合、データベースにアクセスできません。データベースの作成中にデータベースユーザーを作成するには、[新しいデータベースユーザーを作成] にチェックを入れてください。あるいは、既存のユーザーアカウントを使用したい場合などは、後で「データベースユーザ」画面からユーザーを選択することもできます。</p> <p>「データベースユーザ名」: 任意のデータベースユーザー名を入力してください。</p> <p>「新規パスワード」: 新しいパスワードを入力してください。</p> <p><b>[生成]</b>: パスワードを自動で生成します。</p> <p><b>[表示]</b>: 入力したパスワードを表示したい時に使用します。</p> <p>「パスワードの確認」: 確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</p> <p>「ユーザーは選択した契約内のすべてのデータベースにアクセスできます」: データベースへのアクセスにデータベースユーザーを使用する場合はチェックを入れてください。</p>

## データベースの削除

インストールされたアプリケーションで使用されていないデータベースやデータベースユーザーを削除することができます。

※アプリケーションで使用中のデータベースは削除できません。先に該当アプリケーションを削除してください。

(1) データベースを削除する場合、「データベース」画面の**[データベースを削除]**をクリックします。



(2)確認メッセージが表示されます。

削除する場合は[はい]、削除をやめる場合は[いいえ]をクリックします。



## データベースにアクセスする

データベースを作成し、データベースユーザーの割り当てを行うと、データベース管理画面へアクセスできるようになります。以下の通り、データベースのタイプに応じてリンクの名称が異なります。

- ・ phpMyAdmin : MySQL データベース用
- ・ phpPgAdmin : PostgreSQL データベース用

データベースにアクセスする場合、**[phpMyAdmin]**／**[phpPgAdmin]**をクリックします。



## データベースをコピーする

使用しているデータベースが MySQL の場合、ユーザーツールに登録されているデータベースサーバーから、別のデータベースサーバーやリモートサーバにデータベースをコピーすることができます。  
※ただし、コピー元とコピー先のサーバーのタイプがともに MySQL でなければなりません。

(1) 「データベース」画面の **[コピー]** をクリックします。



(2) 「データベースをコピー」画面は、以下の2つの部分から構成されています。



①	コピー先のサーバー、データベース名を指定します。 「コピー先データベースサーバ」: ユーザーツール内のデータベースまたは、 <b>[その他]</b> のデータベースを選択することができます。 ※既存のデータベースをコピー先として選択した場合、コピー先データベースのテーブルのうち、コピー元データベースのテーブルと名前が同じものはすべて上書きされます。 「コピー先データベース」: 「名前を指定してデータベースを作成する」または、「既存データベースにコピーする」を選択できます。
②	「フルコピーを作成する」: テーブルの構造に加え、データを含めたデータベース全体のコピーを行いたい場合にチェックを入れます。

## データベースユーザーのアカウント管理

サーバー上のデータベースにアクセスするために使用するユーザアカウントを管理します。

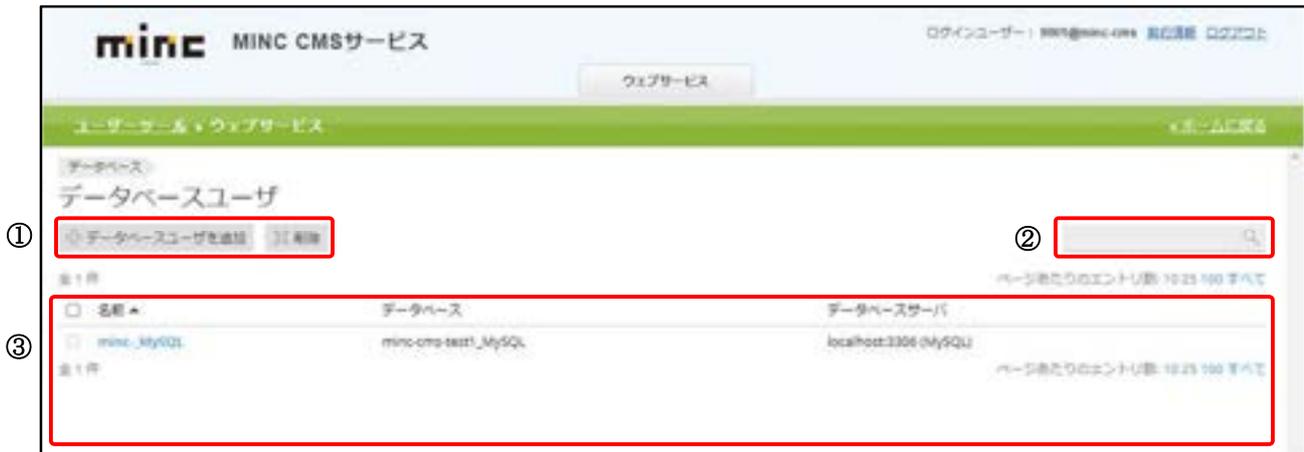
(1)データベースユーザーの管理は、データベース画面の**[ユーザー管理]**から行います。



特定のデータベースに対して、任意のデータベースユーザーを設定することができます。ユーザーツールでは、「すべてのデータベース」のアクセス権があるデフォルトユーザが存在する場合は、その他のユーザーが紐付けられている場合でも、常にこのデフォルトユーザを使用してデータベースへのアクセスが実行されます。

データベースに複数のユーザアカウントが紐付けられており、いずれもデフォルトに設定されていない場合は、リストの1番目のアカウントが使用されます。

(2) 「データベースユーザ」画面は、以下の3つの部分から構成されています。



①	<p><b>[データベースユーザを追加]</b>：データベースユーザの追加が行えます。</p> <p><b>[削除]</b>：選択したデータベースユーザを削除できます。</p>
②	<p>検索ボックス：データベースユーザの検索ができます。</p>
③	<p>「名前」：データベースユーザ名を表示します。ユーザ名をクリックするとデータベースユーザの設定画面に遷移します。</p> <p>※「名前」をクリックすると名前で並び替えを変更できます。</p> <p>「データベース」：データベース名を表示します。</p> <p>「データベースサーバ」：データベースサーバ情報を表示します</p>

## データベースユーザーのアカウント追加

追加するデータベースユーザーの設定ができます。

- (1)データベース画面の[データベースユーザーを追加]をクリックします。
- (2)「データベースサーバーの追加」画面は、以下のように構成されています。

The screenshot shows the 'データベースサーバーの追加' (Add Database Server) form. The form includes the following fields and controls:

- データベースサーバ**: A dropdown menu currently showing 'localhost:3306 (MySQL のデフォルト, v5.7.30)'.
- データベースユーザー名\***: A text input field containing 'minc\_'.
- 新規パスワード\***: A text input field with a '生成' (Generate) button and a '表示' (Show) button.
- パスワードの確認\***: A text input field for password confirmation.
- データベース**: A dropdown menu currently showing 'すべて' (All).

At the bottom of the form, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A red box highlights the 'データベースサーバ', 'データベースユーザー名\*', '新規パスワード\*', and 'パスワードの確認\*' fields.

追加するデータベースユーザーの設定ができます。

「データベースサーバ」：データベースサーバーを選択してください。

「データベースユーザー名」：任意のデータベースユーザー名を入力してください。

「新規パスワード」：新しいパスワードを入力してください

**[生成]**：パスワードを自動で生成します。

**[表示]**：入力したパスワードを表示したい時に使用します。

「パスワードの確認」：確認のため、もう一度パスワードを入力してください。

「データベース」：このユーザーがアクセス可能なデータベースの名前を指定します。全てのデータベースへのアクセスを許可する場合は**[すべて]**を選択します。

## スケジュール済みタスク

サーバーのタスクスケジューラ(cron)機能を有効化して、システムでスクリプトを特定の時間に自動実行することができます。

(1)[スケジュール済みタスク]をクリックします。



(2)「スケジュール済みタスク」画面は以下の構成となります。



①	<p><b>[タスクを追加]</b>：新規タスクが作成できます。</p> <p><b>[更新]</b>：タスクのリストを読み込み直しできます。</p> <p><b>[削除]</b>：設定されたタスクを削除できます。</p> <p><b>[設定]</b>：スケジュール済みタスクの設定を編集します。</p>
②	<p>設定されたタスクを検索できます。</p>
③	<p>設定されたタスクを表示します。</p> <p>「コマンド」：タスク名を表示します。クリックするとタスクのプロパティを変更できます。</p> <p>「スケジュール」：タスクのスケジュールを表示します。</p> <p>※非アクティブ状態は「●」アイコンで、アクティブ状態は「●」アイコンで表示されます。</p> <p>また、アイコンをクリックすると状態が変更できます。</p> <p>「今すぐ実行」：タスクを即時実行できます。</p>

## タスクを追加

新規タスクを作成できます。

(1) 「スケジュール済みタスク」画面の[タスクを追加]をクリックします。



(2) 「タスクを追加」画面は以下の構成となります。



アクティブ	作成後すぐに有効にしたい場合はチェックを入れます。
タスクタイプ	<p><b>[コマンドを実行]</b>： 実行するコマンドファイルをフルパスで指定します。これには、バイナリファイル、シェルスクリプト、およびバッチファイルが含まれます。</p> <p><b>[URL をフェッチ]</b>： URL のみを指定します。curl や wget など、コマンドを入力する必要はありません。</p> <p><b>[PHP スクリプトを実行]</b>： 仮想ホストディレクトリを基準に、スクリプトの相対パスと引数を指定します。「」アイコンをクリックして、スクリプトファイルを簡単に探すことができます。</p> <p>※入力欄は、選択したタスクタイプによって異なります。</p>
実行	<p>実行するコマンドの頻度（毎時/毎日/毎週/毎月/毎年/Cron スタイル）と時間を指定できます。</p> 
説明	タスクに説明を設定します。
通知	<p>スケジューラがタスク実行時に通知を送信するかどうかを指定します。</p> <p>「通知しない」： 送信されません。</p> <p>「エラーのみ」： タスクがエラー終了した場合のみ送信されます。通知にはコマンドの標準エラー streams が含まれます。</p> <p>※ streams が空の場合、通知は送信されません。</p> <p>「毎回」： タスク実行時に毎回送信されます。通知にはコマンド出力が含まれます。</p> <p>※出力が空の場合、通知は送信されません。</p>
通知の送信先	<p>通知設定を「エラーのみ」または「毎回」を選択した場合に表示します。</p> <p>「契約オーナー」： ( )内に記載のメールアドレスに送信されます。</p> <p>「他のユーザ」： 任意のメールアドレスを指定して送信できます。</p> <p>メールアドレスをカンマ(,)で区切って複数のメールアドレスを指定することもできます。</p>

## タスクをキャンセル

(1) 「スケジュール済みタスク」画面でキャンセルするタスクにチェックを入れて、**[削除]**をクリックします。



(2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は**[はい]**、削除をやめる場合は**[いいえ]**をクリックします。



## スケジュール済みタスクの設定

(1) 「スケジュール済みタスク」画面の**[設定]**をクリックします。



(2) 「スケジュール済みタスクの設定」画面は以下の構成となります。



タイムゾーンを使用してタスクスケジュールを表示	タスクスケジュールを実行する際の基準となるタイムゾーンを指定します。 「システムのデフォルトタイムゾーンを使用」：日本時刻を指定します。 「指定したタイムゾーンを使用」：日本以外の時刻を指定します。
-------------------------	---

## WordPress

ご契約サイト内にインストールされた WordPress をリストで確認できます。

※インストールされた WordPress は「ウェブサイトとドメイン」画面からも情報を確認できます。

(1) インストールされている WordPress を表示します。



ウェブサイトタイトル (ブログ)	WordPress Toolkit 画面を表示します。。
ログイン	WordPress にログインします。
スキャン	サイト内のディレクトリをスキャンして、手動インストールした WordPress を探し、リストに追加します。
セキュリティチェック	選択した WordPress のセキュリティをチェック、強化します。
プラグイン	選択した WordPress にインストールしているプラグイン数とアクティブ化状態を表示します。
テーマ	選択した WordPress テーマを管理します。
複製	選択した WordPress を複製します。
データをコピー	選択した WordPress からデータをコピーします。

(1)[WordPress]または WordPress の[ウェブサイトタイトル (ブログ)]をクリックします。



(2)インストールされている WordPress Toolkit 画面を表示します。

「WordPress Toolkit」の画面は、以下の4つの部分から構成されています。



①	<p><b>[インストール]</b> : インストールされている WordPress のリストを表示します。</p> <p><b>[プラグイン]</b> : WordPress にインストールされているプラグインリストを表示します。</p> <p><b>[テーマ]</b> : WordPress にインストールされているテーマのリストを表示します。</p>
②	<p><b>[インストール]</b> : 契約に新しい WordPress をインストールします。</p> <p><b>[スキャン]</b> : サイト内のディレクトリをスキャンして、手動インストールした WordPress を探し、リストに追加します。</p>

	<p>[<b>アップデート</b>]: 選択した WordPress のアップデートをチェックし、更新します。</p> <p>[<b>セキュリティ</b>]: 選択した WordPress のセキュリティをチェック、強化します。</p> <p>[<b>デタッチ</b>]: 選択した WordPress が WordPress Toolkit から外されます。</p> <p>[<b>削除</b>]: 選択した WordPress を削除します。</p>
③	<p>インストールした WordPress の表示形式を変更できます。</p> <p>[<b>フィルタ</b>]:</p> <p>[<b>カード</b>]: インストールした WordPress をカードで表示します。</p> <p>[<b>タイル</b>]: インストールした WordPress をタイルで表示します。</p> <p>[<b>リスト</b>]: インストールした WordPress をリストで表示します。</p>
④	<p>インストールした WordPress の情報を表示します。</p> <p>WordPress の詳細な設定が行えます。</p>

## リソース利用状況

ディスクスペースなどのリソースの利用状況が確認できます。

The screenshot shows the 'minc CMSサービス' (minc CMS Service) UserTool interface. The main content area displays the configuration for 'minc-cms-test11.com'. On the right side, there is a sidebar menu with a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section highlighted by a red box. This section shows the following information:

- ディスクスペース 0% (Disk Space 0%)
- 30 GB 中、1.2 MB 使用 (30 GB of 1.2 MB used)
- トラフィック 0% (Traffic 0%)
- 詳細な統計情報を表示 (Show detailed statistics)

ディスクスペース	契約に割り当てられているディスクスペースの使用量と使用率を確認できます。
トラフィック	すべてのウェブサイトを合計した今月の転送量（メガバイト単位）を確認できます。
 統計情報の詳細を表示	リソースの使用状況に関する詳細なレポートを表示します。

## 統計情報の詳細を表示

アカウントのディスク容量とトラフィック使用量に関するレポート、グラフを表示します。

(1) [統計情報の詳細を表示] をクリックします。



(2) 「統計」画面は、以下の2つの部分から構成されています。



①	<p>「ディスクスペース」: サービスによる使用量の内訳を確認できます。</p> <p>「トラフィック」: FTP、ウェブで使用された転送データの合計データ量内訳を確認できます。</p> <p>※ 「<b>FTP</b>」 は、FTP プロトコル経由で送受信されたファイルの合計サイズを示します。</p> <p>※ 「<b>HTTP</b>」 は、HTTP プロトコル経由ですべてのウェブサイトから送受信されたデータの合計量を示します。</p>
②	<p><b>[FTP 統計]</b>: FTP プロトコルでサイトにアップロードしたデータ量とダウンロードしたデータ量に関する詳細なレポートを表示します。</p> <p>※ 「ホスティング設定」画面で「ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザー名とパスワードで保護する」にチェックを入れている場合、レポート表示前に認証画面が表示されます。FTP ユーザー名とパスワードでログインしてください。</p> <p><b>[データ転送統計]</b>: ウェブサイト (HTTP、FTP) によるトラフィックの使用量に関する月次レポートを表示します。</p> <p><b>[ウェブ統計]</b>: サイト訪問者及び訪問者が参照したページについて、ウェブサイト訪問情報を表示します。</p>

## 付録 1 : MIME タイプのデフォルト設定

application/activemessage	
application/andrew-inset	ez
application/annodex	anx
application/applefile	
application/atom+xml	atom
application/atomcat+xml	atomcat
application/atomicmail	
application/atomserv+xml	atomsrv
application/batch-SMTP	
application/bbolin	lin
application/beep+xml	
application/cals-1840	
application/commonground	
application/cu-seeme	cu
application/cybercash	
application/davmount+xml	davmount
application/dca-rft	
application/dec-dx	
application/dicom	dcm
application/docbook+xml	
application/dsptype	tsp
application/dvcs	
application/ecmascript	es
application/edi-consent	
application/edi-x12	
application/edifact	
application/eshop	
application/font-tdpfr	
application/futuresplash	spl
application/ghostview	
application/hta	hta
application/http	
application/hyperstudio	
application/iges	
application/index	
application/index.cmd	
application/index.obj	
application/index.response	
application/index.vnd	
application/iotp	
application/ipp	
application/isup	
application/java-archive	jar
application/java-serialized-object	ser
application/java-vm	class
application/javascript	js
application/json	json
application/m3g	m3g
application/mac-binhex40	hqx
application/mac-compactpro	cpt
application/macwriteii	
application/marc	
application/mathematica	nb nbp
application/mbox	mbox
application/ms-tnef	
application/msaccess	mdb
application/msword	doc dot
application/mxf	mxf

application/news-message-id	
application/news-transmission	
application/ocsp-request	
application/ocsp-response	
application/octet-stream	bin
application/oda	oda
application/ogg	ogx
application/onenote	one onetoc2 onetmp onepkg
application/parityfec	
application/pdf	pdf
application/pgp-encrypted	pgp
application/pgp-keys	key
application/pgp-signature	sig
application/pics-rules	prf
application/pkcs10	
application/pkcs7-mime	
application/pkcs7-signature	
application/pkix-cert	
application/pkix-crl	
application/pkixcmp	
application/postscript	ps ai eps epsi epsf eps2 eps3
application/prs.alvestrand.titrax-sheet	
application/prs.cww	
application/prs.nprend	
application/qsig	
application/rar	rar
application/rdf+xml	rdf
application/remote-printing	
application/riscos	
application/rtf	rtf
application/sdp	
application/set-payment	
application/set-payment-initiation	
application/set-registration	
application/set-registration-initiation	
application/sgml	
application/sgml-open-catalog	
application/sieve	
application/sla	stl
application/slate	
application/smil+xml	smi smil
application/timestamp-query	
application/timestamp-reply	
application/vemmi	
application/whoispp-query	
application/whoispp-response	
application/wita	
application/x400-bp	
application/xhtml+xml	xhtml xht
application/xml	xml xsd
application/xml-dtd	
application/xml-external-parsed-entity	
application/xslt+xml	xsl xslt
application/xspf+xml	xspf
application/zip	zip
application/vnd.3M.Post-it-Notes	
application/vnd.accpac.simply.aso	
application/vnd.accpac.simply.imp	
application/vnd.acucobol	
application/vnd.aether.imp	

application/vnd.android.package-archive	apk
application/vnd.anser-web-certificate-issue-initiation	
application/vnd.anser-web-funds-transfer-initiation	
application/vnd.audiograph	
application/vnd.bmi	
application/vnd.businessobjects	
application/vnd.canon-cpdl	
application/vnd.canon-lips	
application/vnd.cinderella	cdy
application/vnd.claymore	
application/vnd.commerce-battelle	
application/vnd.commonspace	
application/vnd.comsocaller	
application/vnd.contact.cmsg	
application/vnd.cosmocaller	
application/vnd.ctc-posml	
application/vnd.cups-postscript	
application/vnd.cups-raster	
application/vnd.cups-raw	
application/vnd.cybank	
application/vnd.dna	
application/vnd.dpgraph	
application/vnd.dxr	
application/vnd.ecdis-update	
application/vnd.ecowin.chart	
application/vnd.ecowin.filerequest	
application/vnd.ecowin.fileupdate	
application/vnd.ecowin.series	
application/vnd.ecowin.seriesrequest	
application/vnd.ecowin.seriesupdate	
application/vnd.enliven	
application/vnd.epson.esf	
application/vnd.epson.msf	
application/vnd.epson.quickanime	
application/vnd.epson.salt	
application/vnd.epson.ssf	
application/vnd.ericsson.quickcall	
application/vnd.eudora.data	
application/vnd.fdf	
application/vnd.ffsns	
application/vnd.flographit	
application/vnd.framemaker	
application/vnd.fsc.weblaunch	
application/vnd.fujitsu.oasys	
application/vnd.fujitsu.oasys2	
application/vnd.fujitsu.oasys3	
application/vnd.fujitsu.oasysgp	
application/vnd.fujitsu.oasysprs	
application/vnd.fujixerox.ddd	
application/vnd.fujixerox.docuworks	
application/vnd.fujixerox.docuworks.binder	
application/vnd.fut-misnet	
application/vnd.google-earth.kml+xml	kml
application/vnd.google-earth.kmz	kmz
application/vnd.grafeq	
application/vnd.groove-account	
application/vnd.groove-identity-message	
application/vnd.groove-injector	
application/vnd.groove-tool-message	
application/vnd.groove-tool-template	

application/vnd.groove-vcard	
application/vnd.hhe.lesson-player	
application/vnd.hp-HPGL	
application/vnd.hp-PCL	
application/vnd.hp-PCLXL	
application/vnd.hp-hpid	
application/vnd.hp-hps	
application/vnd.httpphone	
application/vnd.hzn-3d-crossword	
application/vnd.ibm.Minipay	
application/vnd.ibm.afplinedata	
application/vnd.ibm.modcap	
application/vnd.informix-visionary	
application/vnd.intercon.formnet	
application/vnd.intertrust.digibox	
application/vnd.intertrust.nncp	
application/vnd.intu.qbo	
application/vnd.intu.qfx	
application/vnd.irepository.package+xml	
application/vnd.is-xpr	
application/vnd.japannet-directory-service	
application/vnd.japannet-jpnstore-wakeup	
application/vnd.japannet-payment-wakeup	
application/vnd.japannet-registration	
application/vnd.japannet-registration-wakeup	
application/vnd.japannet-setstore-wakeup	
application/vnd.japannet-verification	
application/vnd.japannet-verification-wakeup	
application/vnd.koan	
application/vnd.lotus-1-2-3	
application/vnd.lotus-approach	
application/vnd.lotus-freelance	
application/vnd.lotus-notes	
application/vnd.lotus-organizer	
application/vnd.lotus-screencam	
application/vnd.lotus-wordpro	
application/vnd.mcd	
application/vnd.mediastation.cdkey	
application/vnd.meridian-slideshow	
application/vnd.mif	
application/vnd.minisoft-hp3000-save	
application/vnd.mitsubishi.misty-guard.trustweb	
application/vnd.mobius.daf	
application/vnd.mobius.dis	
application/vnd.mobius.msl	
application/vnd.mobius.plc	
application/vnd.mobius.txf	
application/vnd.motorola.flexsuite	
application/vnd.motorola.flexsuite.adsi	
application/vnd.motorola.flexsuite.fis	
application/vnd.motorola.flexsuite.gotap	
application/vnd.motorola.flexsuite.kmr	
application/vnd.motorola.flexsuite.ttc	
application/vnd.motorola.flexsuite.wem	
application/vnd.mozilla.xul+xml	xul
application/vnd.ms-artgalry	
application/vnd.ms-asf	
application/vnd.ms-excel	xls xlb xlt
application/vnd.ms-excel.addin.macroEnabled.12	xlam
application/vnd.ms-excel.sheet.binary.macroEnabled.12	xlsb

application/vnd.ms-excel.sheet.macroEnabled.12	xlsm
application/vnd.ms-excel.template.macroEnabled.12	xltm
application/vnd.ms-fontobject	eot
application/vnd.ms-lrm	
application/vnd.ms-officetheme	thmx
application/vnd.ms-pki.seccat	cat
#application/vnd.ms-pki.stl	stl
application/vnd.ms-powerpoint	ppt pps
application/vnd.ms-powerpoint.addin.macroEnabled.12	ppam
application/vnd.ms-powerpoint.presentation.macroEnabled.12	pptm
application/vnd.ms-powerpoint.slide.macroEnabled.12	sldm
application/vnd.ms-powerpoint.slideshow.macroEnabled.12	ppsm
application/vnd.ms-powerpoint.template.macroEnabled.12	potm
application/vnd.ms-project	
application/vnd.ms-tnef	
application/vnd.ms-word.document.macroEnabled.12	docm
application/vnd.ms-word.template.macroEnabled.12	dotm
application/vnd.ms-works	
application/vnd.mseq	
application/vnd.msign	
application/vnd.music-niff	
application/vnd.musician	
application/vnd.netfpx	
application/vnd.noblenet-directory	
application/vnd.noblenet-sealer	
application/vnd.noblenet-web	
application/vnd.novadigm.EDM	
application/vnd.novadigm.EDX	
application/vnd.novadigm.EXT	
application/vnd.oasis.opendocument.chart	odc
application/vnd.oasis.opendocument.database	odb
application/vnd.oasis.opendocument.formula	odf
application/vnd.oasis.opendocument.graphics	odg
application/vnd.oasis.opendocument.graphics-template	otg
application/vnd.oasis.opendocument.image	odi
application/vnd.oasis.opendocument.presentation	odp
application/vnd.oasis.opendocument.presentation-template	otp
application/vnd.oasis.opendocument.spreadsheet	ods
application/vnd.oasis.opendocument.spreadsheet-template	ots
application/vnd.oasis.opendocument.text	odt
application/vnd.oasis.opendocument.text-master	odm
application/vnd.oasis.opendocument.text-template	ott
application/vnd.oasis.opendocument.text-web	oth
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation	pptx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slide	sldx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slideshow	ppsx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.template	potx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet	xlsx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.template	xltx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document	docx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template	dotx
application/vnd.osa.netdeploy	
application/vnd.palm	
application/vnd.pg.format	
application/vnd.pg.asali	
application/vnd.powerbuilder6	
application/vnd.powerbuilder6-s	
application/vnd.powerbuilder7	
application/vnd.powerbuilder7-s	
application/vnd.powerbuilder75	

application/vnd.powerbuilder75-s	
application/vnd.previewsystems.box	
application/vnd.publishare-delta-tree	
application/vnd.pvi.ptid1	
application/vnd.pwg-xhtml-print+xml	
application/vnd.rapid	
application/vnd.rim.cod	cod
application/vnd.s3sms	
application/vnd.seemail	
application/vnd.shana.informed.formdata	
application/vnd.shana.informed.formtemplate	
application/vnd.shana.informed.interchange	
application/vnd.shana.informed.package	
application/vnd.smaf	mmf
application/vnd.sss-cod	
application/vnd.sss-dtf	
application/vnd.sss-ntf	
application/vnd.stardivision.calc	sdc
application/vnd.stardivision.chart	sds
application/vnd.stardivision.draw	sda
application/vnd.stardivision.impress	sdd
application/vnd.stardivision.math	sdf
application/vnd.stardivision.writer	sdw
application/vnd.stardivision.writer-global	sgl
application/vnd.street-stream	
application/vnd.sun.xml.calc	sxc
application/vnd.sun.xml.calc.template	stc
application/vnd.sun.xml.draw	sxd
application/vnd.sun.xml.draw.template	std
application/vnd.sun.xml.impress	sxi
application/vnd.sun.xml.impress.template	sti
application/vnd.sun.xml.math	sxm
application/vnd.sun.xml.writer	sxw
application/vnd.sun.xml.writer.global	sxg
application/vnd.sun.xml.writer.template	stw
application/vnd.svd	
application/vnd.swiftview-ics	
application/vnd.symbian.install	sis
application/vnd.tcpdump.pcap	cap pcap
application/vnd.triscape.mxs	
application/vnd.trueapp	
application/vnd.truedoc	
application/vnd.tve-trigger	
application/vnd.ufdl	
application/vnd.uplanet.alert	
application/vnd.uplanet.alert-wbxml	
application/vnd.uplanet.bearer-choice	
application/vnd.uplanet.bearer-choice-wbxml	
application/vnd.uplanet.cacheop	
application/vnd.uplanet.cacheop-wbxml	
application/vnd.uplanet.channel	
application/vnd.uplanet.channel-wbxml	
application/vnd.uplanet.list	
application/vnd.uplanet.list-wbxml	
application/vnd.uplanet.listcmd	
application/vnd.uplanet.listcmd-wbxml	
application/vnd.uplanet.signal	
application/vnd.vcx	
application/vnd.vectorworks	
application/vnd.vidsoft.vidconference	

application/vnd.visio	vsd
application/vnd.vividence.scriptfile	
application/vnd.wap.sic	
application/vnd.wap.slc	
application/vnd.wap.wbxml	wbxml
application/vnd.wap.wmlc	wmlc
application/vnd.wap.wmlscriptc	wmlsc
application/vnd.webturbo	
application/vnd.wordperfect	wpd
application/vnd.wordperfect5.1	wp5
application/vnd.wrq-hp3000-labelled	
application/vnd.wt.stf	
application/vnd.xara	
application/vnd.xfdl	
application/vnd.yellowriver-custom-menu	
application/x-123	wk
application/x-7z-compressed	7z
application/x-abiword	abw
application/x-apple-diskimage	dmg
application/x-bcpio	bcpio
application/x-bittorrent	torrent
application/x-cab	cab
application/x-cbr	cbr
application/x-cbz	cbz
application/x-cdf	cdf cda
application/x-cdlink	vcd
application/x-chess-pgn	pgn
application/x-comsol	mph
application/x-core	
application/x-cpio	cpio
application/x-csh	csh
application/x-debian-package	deb udeb
application/x-director	dcr dir dxr
application/x-dms	dms
application/x-doom	wad
application/x-dvi	dvi
application/x-executable	
application/x-font	pfa pfb gsf pcf pcf.Z
application/x-font-woff	woff
application/x-freemind	mm
application/x-futuresplash	spl
application/x-ganttproject	gan
application/x-gnumeric	gnumeric
application/x-go-sgf	sgf
application/x-graphing-calculator	gcf
application/x-gtar	gtar
application/x-gtar-compressed	tgz taz
application/x-hdf	hdf
#application/x-httpd-eruby	rhtml
#application/x-httpd-php	phtml pht php
#application/x-httpd-php-source	phps
#application/x-httpd-php3	php3
#application/x-httpd-php3-preprocessed	php3p
#application/x-httpd-php4	php4
#application/x-httpd-php5	php5
application/x-hwp	hwp
application/x-ica	ica
application/x-info	info
application/x-internet-signup	ins isp
application/x-iphone	iii

application/x-iso9660-image	iso
application/x-jam	jam
application/x-java-applet	
application/x-java-bean	
application/x-java-jnlp-file	jnlp
application/x-jmol	jmz
application/x-kchart	chrt
application/x-kdelnk	
application/x-killustrator	kil
application/x-koan	skp skd skt skm
application/x-kpresenter	kpr kpt
application/x-kspread	ksp
application/x-kword	kwd kwt
application/x-latex	latex
application/x-lha	lha
application/x-lyx	lyx
application/x-lzh	lzh
application/x-lzx	lzx
application/x-maker	frm maker frame fm fb book fbdoc
application/x-md5	md5
application/x-mif	mif
application/x-mpegURL	m3u8
application/x-ms-wmd	wmd
application/x-ms-wmz	wmz
application/x-msdos-program	com exe bat dll
application/x-msi	msi
application/x-netcdf	nc
application/x-ns-proxy-autoconfig	pac dat
application/x-nwc	nwc
application/x-object	o
application/x-oz-application	oza
application/x-pkcs7-certreqresp	p7r
application/x-pkcs7-crl	crl
application/x-python-code	pyc pyo
application/x-qgis	qgs shp shx
application/x-quicktimeplayer	qtl
application/x-rdp	rdp
application/x-redhat-package-manager	rpm
application/x-rss+xml	rss
application/x-ruby	rb
application/x-rx	
application/x-scilab	sci sce
application/x-scilab-xcos	xcos
application/x-sh	sh
application/x-sha1	sha1
application/x-shar	shar
application/x-shellscript	
application/x-shockwave-flash	swf swfl
application/x-silverlight	scr
application/x-sql	sql
application/x-stuffit	sit sitx
application/x-sv4cpio	sv4cpio
application/x-sv4crc	sv4crc
application/x-tar	tar
application/x-tcl	tcl
application/x-tex-gf	gf
application/x-tex-pk	pk
application/x-texinfo	texinfo texi
application/x-trash	~ % bak old sik
application/x-troff	t tr roff

application/x-troff-man	man
application/x-troff-me	me
application/x-troff-ms	ms
application/x-ustar	ustar
application/x-videolan	
application/x-wais-source	src
application/x-wingz	wz
application/x-x509-ca-cert	crt
application/x-xcf	xcf
application/x-xfig	fig
application/x-xpinstall	xpi
audio/32kadpcm	
audio/3gpp	
audio/amr	amr
audio/amr-wb	awb
audio/annodex	axa
audio/basic	au snd
audio/csound	csd orc sco
audio/flac	flac
audio/g.722.1	
audio/l16	
audio/midi	mid midi kar
audio/mp4a-latm	
audio/mpa-robust	
audio/mpeg	mpga mpega mp2 mp3 m4a
audio/mpegurl	m3u
audio/ogg	oga ogg opus spx
audio/parityfec	
audio/prs.sid	sid
audio/telephone-event	
audio/tone	
audio/vnd.cisco.nse	
audio/vnd.cns.anp1	
audio/vnd.cns.inf1	
audio/vnd.digital-winds	
audio/vnd.everad.plj	
audio/vnd.lucent.voice	
audio/vnd.nortel.vbk	
audio/vnd.nuera.ecelp4800	
audio/vnd.nuera.ecelp7470	
audio/vnd.nuera.ecelp9600	
audio/vnd.octel.sbc	
audio/vnd.qcelp	
audio/vnd.rhetorex.32kadpcm	
audio/vnd.vmx.cvsd	
audio/x-aiff	aif aiff aifc
audio/x-gsm	gsm
audio/x-mpegurl	m3u
audio/x-ms-wma	wma
audio/x-ms-wax	wax
audio/x-pn-realaudio-plugin	
audio/x-pn-realaudio	ra rm ram
audio/x-realaudio	ra
audio/x-scpls	pls
audio/x-sd2	sd2
audio/x-wav	wav
chemical/x-alchemy	alc
chemical/x-cache	cac cache

chemical/x-cache-csf	csf
chemical/x-cactvs-binary	cbin cascii ctab
chemical/x-cdx	cdx
chemical/x-cerius	cer
chemical/x-chem3d	c3d
chemical/x-chemdraw	chm
chemical/x-cif	cif
chemical/x-cmdf	cmdf
chemical/x-cml	cml
chemical/x-compass	cpa
chemical/x-crossfire	bsd
chemical/x-csml	csml csm
chemical/x-ctx	ctx
chemical/x-cxf	cxf cef
#chemical/x-daylight-smiles	smi
chemical/x-embl-dl-nucleotide	emb embl
chemical/x-galactic-spc	spc
chemical/x-gamess-input	inp gam gamin
chemical/x-gaussian-checkpoint	fch fchk
chemical/x-gaussian-cube	cub
chemical/x-gaussian-input	gau gjc gjf
chemical/x-gaussian-log	gal
chemical/x-gcg8-sequence	gcg
chemical/x-genbank	gen
chemical/x-hin	hin
chemical/x-isostar	istr ist
chemical/x-jcamp-dx	jdx dx
chemical/x-kinemage	kin
chemical/x-macmolecule	mcm
chemical/x-macromodel-input	mmd mmod
chemical/x-mdl-molfile	mol
chemical/x-mdl-rdfile	rd
chemical/x-mdl-rxnfile	rxn
chemical/x-mdl-sdfile	sd sdf
chemical/x-mdl-tgf	tgf
#chemical/x-mif	mif
chemical/x-mmCIF	mcif
chemical/x-mol2	mol2
chemical/x-molconn-Z	b
chemical/x-mopac-graph	gpt
chemical/x-mopac-input	mop mopcrt mpc zmt
chemical/x-mopac-out	moo
chemical/x-mopac-vib	mvb
chemical/x-ncbi-asn1	asn
chemical/x-ncbi-asn1-ascii	prt ent
chemical/x-ncbi-asn1-binary	val aso
chemical/x-ncbi-asn1-spec	asn
chemical/x-pdb	pdb ent
chemical/x-rosdal	ros
chemical/x-swissprot	sw
chemical/x-vamas-iso14976	vms
chemical/x-vmd	vmd
chemical/x-xtel	xtel
chemical/x-xyz	xyz
image/cgm	
image/g3fax	
image/gif	gif
image/ief	ief
image/jp2	jp2 jpg2

image/jpeg	jpeg jpg jpe
image/jpm	jpm
image/jpx	jpx jpf
image/naplps	
image/pcx	pcx
image/png	png
image/prs.btif	
image/prs.pti	
image/svg+xml	svg svgz
image/tiff	tiff tif
image/vnd.cns.inf2	
image/vnd.djvu	djvu djv
image/vnd.dwg	
image/vnd.dxf	
image/vnd.fastbidsheet	
image/vnd.fpx	
image/vnd.fst	
image/vnd.fujixerox.edmics-mmr	
image/vnd.fujixerox.edmics-rlc	
image/vnd.microsoft.icon	ico
image/vnd.mix	
image/vnd.net-fpx	
image/vnd.svf	
image/vnd.wap.wbmp	wbmp
image/vnd.xiff	
image/x-canon-cr2	cr2
image/x-canon-crw	crw
image/x-cmu-raster	ras
image/x-coreldraw	cdr
image/x-coreldrawpattern	pat
image/x-coreldrawtemplate	cdt
image/x-corelphotopaint	cpt
image/x-epson-erf	erf
image/x-icon	
image/x-jg	art
image/x-jng	jng
image/x-ms-bmp	bmp
image/x-nikon-nef	nef
image/x-olympus-orf	orf
image/x-photoshop	psd
image/x-portable-anymap	pnm
image/x-portable-bitmap	pbm
image/x-portable-graymap	pgm
image/x-portable-pixmap	ppm
image/x-rgb	rgb
image/x-xbitmap	xbm
image/x-xpixmap	xpm
image/x-xwindowdump	xwd
inode/chardevice	
inode/blockdevice	
inode/directory-locked	
inode/directory	
inode/fifo	
inode/socket	
message/delivery-status	
message/disposition-notification	
message/external-body	
message/http	

message/s-http	
message/news	
message/partial	
message/rfc822	eml
model/iges	igs iges
model/mesh	msh mesh silo
model/vnd.dwf	
model/vnd.flatland.3dml	
model/vnd.gdl	
model/vnd.gs-gdl	
model/vnd.gtw	
model/vnd.mts	
model/vnd.vtu	
model/vrml	wrl vrml
model/x3d+vrml	x3dv
model/x3d+xml	x3d
model/x3d+binary	x3db
multipart/alternative	
multipart/appledouble	
multipart/byteranges	
multipart/digest	
multipart/encrypted	
multipart/form-data	
multipart/header-set	
multipart/mixed	
multipart/parallel	
multipart/related	
multipart/report	
multipart/signed	
multipart/voice-message	
text/cache-manifest	appcache
text/calendar	ics icz
text/css	css
text/csv	csv
text/directory	
text/english	
text/enriched	
text/h323	323
text/html	html htm shtml
text/iuls	uls
text/mathml	mml
text/parityfec	
text/plain	asc txt text pot brf srt
text/prs.lines.tag	
text/rfc822-headers	
text/richtext	rtx
text/rtf	
text/scriptlet	sct wsc
text/t140	
text/texmacs	tm
text/tab-separated-values	tsv
text/turtle	ttl
text/uri-list	
text/vnd.abc	
text/vnd.curl	
text/vnd.debian.copyright	
text/vnd.DMClientScript	

text/vnd.flatland.3dml	
text/vnd.fly	
text/vnd.fmi.flexstor	
text/vnd.in3d.3dml	
text/vnd.in3d.spot	
text/vnd.IPTC.NewsML	
text/vnd.IPTC.NITF	
text/vnd.latex-z	
text/vnd.motorola.reflex	
text/vnd.ms-mediapackage	
text/vnd.sun.j2me.app-descriptor	jad
text/vnd.wap.si	
text/vnd.wap.sl	
text/vnd.wap.wml	wml
text/vnd.wap.wmlscript	wmls
text/x-bibtex	bib
text/x-boo	boo
text/x-c++hdr	h++ hpp hxx hh
text/x-c++src	c++ cpp cxx cc
text/x-chdr	h
text/x-component	htc
text/x-crontab	
text/x-csh	csh
text/x-csrc	c
text/x-dsrc	d
text/x-diff	diff patch
text/x-haskell	hs
text/x-java	java
text/x-lilypond	ly
text/x-literate-haskell	lhs
text/x-makefile	
text/x-moc	moc
text/x-pascal	p pas
text/x-pcs-gcd	gcd
text/x-perl	pl pm
text/x-python	py
text/x-scala	scala
text/x-server-parsed-html	
text/x-setext	etx
text/x-sfv	sfv
text/x-sh	sh
text/x-tcl	tcl tk
text/x-tex	tex ltx sty cls
text/x-vcalendar	vcs
text/x-vcard	vcf
video/3gpp	3gp
video/annodex	axv
video/dl	dl
video/dv	dif dv
video/fli	fli
video/gl	gl
video/mpeg	mpeg mpg mpe
video/MP2T	ts
video/mp4	mp4
video/quicktime	qt mov
video/mp4v-es	
video/ogg	ogv
video/parityfec	
video/pointer	

video/webm	webm
video/vnd.fvt	
video/vnd.motorola.video	
video/vnd.motorola.videop	
video/vnd.mpegurl	mxu
video/vnd.mts	
video/vnd.nokia.interleaved-multimedia	
video/vnd.vivo	
video/x-flv	flv
video/x-la-asf	lsf lsf
video/x-mng	mng
video/x-ms-asf	asf asx
video/x-ms-wm	wm
video/x-ms-wmv	wmv
video/x-ms-wmx	wmx
video/x-ms-wvx	wvx
video/x-msvideo	avi
video/x-sgi-movie	movie
video/x-matroska	mpv mkv
x-conference/x-cooltalk	ice
x-epoc/x-sisx-app	sisx
x-world/x-vrml	vrml vrml wrl